

令和5（2023）年度 第1回郡山市地域包括支援センター運営協議会

日時：令和5年7月14日（金）午後2時30分～  
会場：郡山市総合福祉センター5階集会室

次 第

- 1 開会
- 2 保健福祉部長あいさつ
- 3 事務局紹介
- 4 会長あいさつ
- 5 新任委員紹介
- 6 議 事
  - (1) 地域包括支援センター（愛称：高齢者あんしんセンター）の運営状況について
    - ア 令和4年度包括的支援事業実施状況・・・資料1－①②③④⑤
    - イ 令和4年度認知症地域支援推進員活動状況・・・資料2
    - ウ 令和4年度地域ケア会議実施状況・・・資料3－①②③④
    - エ 令和4年度基幹型地域包括支援センター活動報告・・・資料4
    - オ 各地域包括支援センターの地域性について・・・資料5
  - (2) その他
- 7 報告事項
  - (1) 令和4年度郡山市養護者による高齢者虐待対応状況について・・・資料6
  - (2) 令和4年度郡山市成年後見等申立状況について・・・資料7
- 8 その他
- 9 閉 会

郡山市地域包括支援センター運営協議会委員名簿

	団体名等	氏名	備考
1	郡山市居宅介護支援事業所連絡協議会	塙 啓 之	
2	郡山市民生児童委員協議会連合会	近 藤 幸 夫	
3	郡山市自治会連合会	國 分 晴 朗	
4	郡山市社会福祉協議会	渡 部 明 美	会長
5	郡山市地域ボランティア連絡協議会	柏 木 一 二 美	
6	郡山医師会	原 寿 夫	副会長
7	郡山歯科医師会	渡 部 光 弘	
8	郡山薬剤師会	阿 部 崇	
9	福島県社会福祉士会	松 本 喜 一	新任
10	郡山市介護支援専門員連絡協議会	佐 川 純 子	
11	福島県看護協会郡山支部	田 村 元 子	
12	福島県作業療法士会	若 林 由 起 子	
13	公募委員	森 田 茂	
14	公募委員	安 達 真 也	

(1) 第八次郡山市高齢者福祉計画・郡山市介護保険事業計画の進行管理について

① 高齢者人口及び要介護・要支援認定者数の推移について

ア 高齢者人口 (第八次計画 P.4~P.6) (単位:人)

区分		第七次計画			第八次計画			第九次計画
		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2025 (R7)
総人口	計画値	325,246	324,400	323,524	320,467	318,954	317,641	314,763
	実績値	324,267	323,204	321,735	320,120	317,992		
高齢者人口	計画値	83,386	85,524	87,662	86,519	87,741	88,873	91,083
	実績値	82,699	83,923	85,305	86,345	87,378		
高齢化率(%)	計画値	25.6	26.4	27.1	27.0	27.5	28.0	28.9
	実績値	25.5	26.0	26.5	27.0	27.5		
前期高齢者 (65~74歳)	計画値	43,052	43,578	44,956	45,490	45,017	43,996	41,882
	実績値	42,759	43,044	44,228	45,487	44,989		
後期高齢者 (75歳~)	計画値	40,334	41,946	42,706	41,029	42,724	44,877	49,201
	実績値	39,940	40,879	41,077	40,858	42,389		

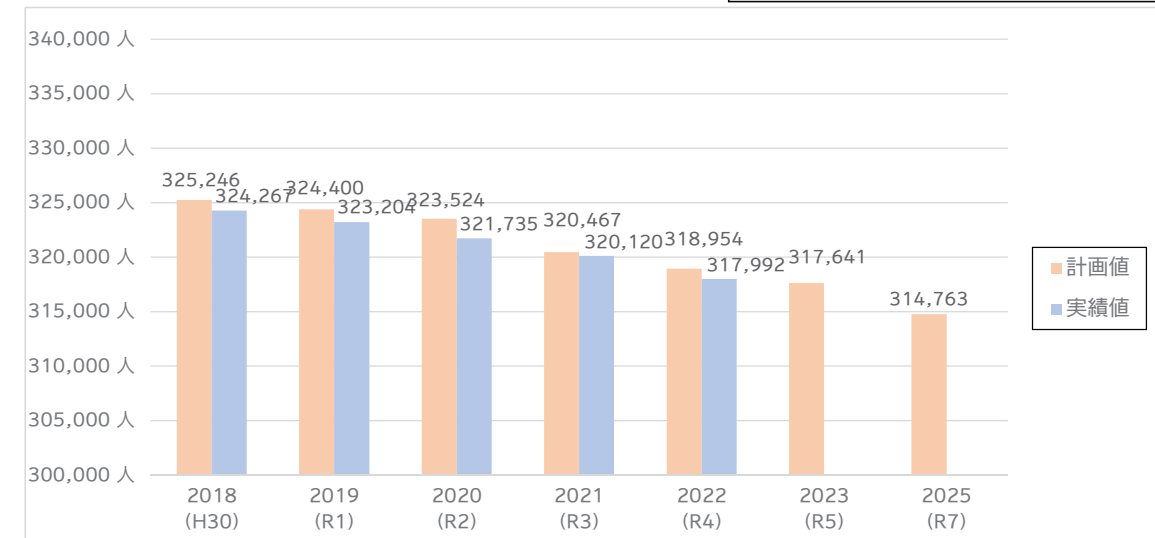
※推計値：各年度10月1日現在

※実績値：各年度9月末日現在

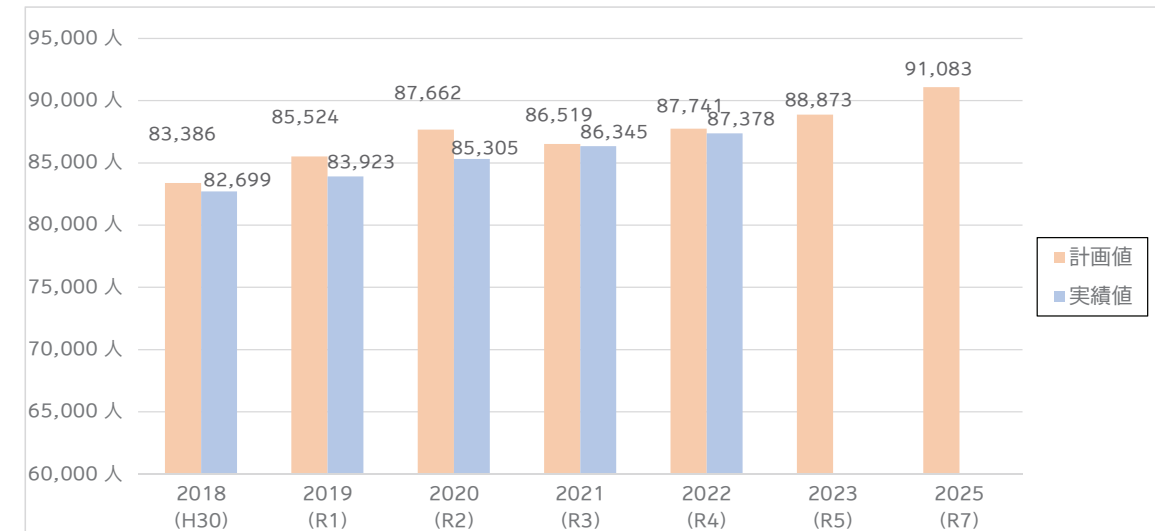
総人口は、令和3年が320,120人、令和4年が317,992人と約2,000人減少しているが、高齢者人口は、令和3年が86,345人、令和4年が87,378人と約1,000人の増加となっている。  
このような状況にあって、高齢化率は、全国(29.0%)や福島県(32.7%)と比較して低くなっているものの、年々増加傾向にある。

参考 介護保険運営協議会資料①

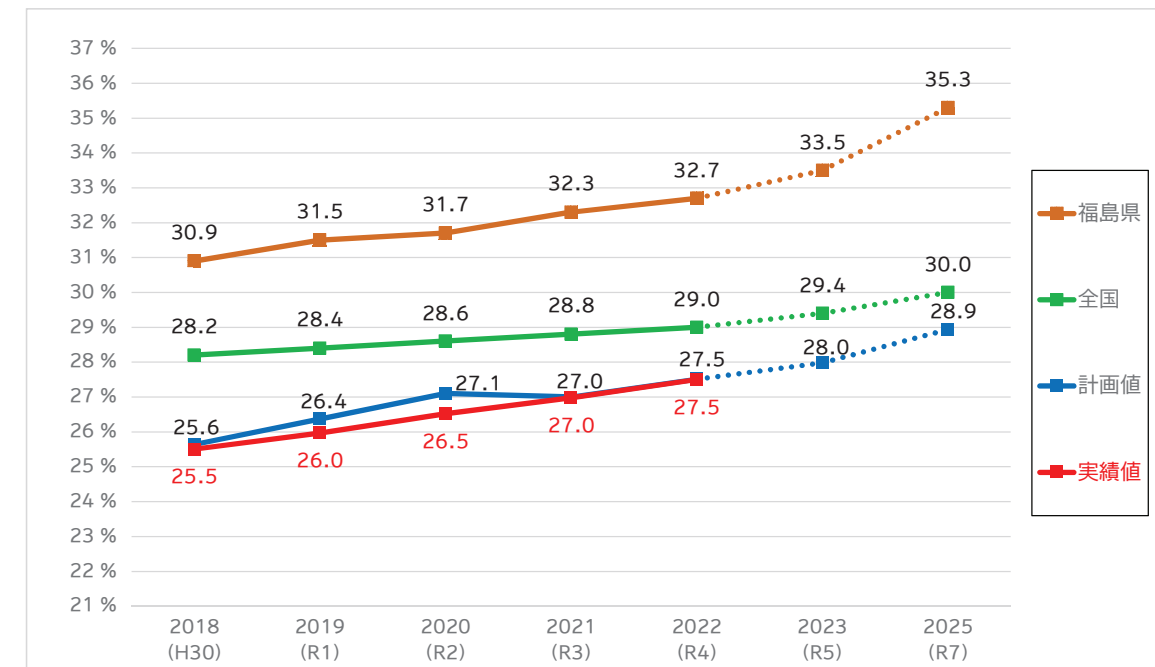
【総人口】



【高齢者人口】



【高齢化率】



区分	第七次計画			第八次計画			第九次計画	第十一次計画
	2018 (H30)	2019 (H31・R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2025 (R7)	2030 (R12)
	実績値	実績値	実績値	実績値	計画値	実績値	計画値	計画値
要支援1	2,458	2,584	2,689	2,706	2,882	2,725	2,965	3,083
要支援2	1,968	2,032	1,979	1,913	2,075	1,950	2,106	2,356
要介護1	3,850	3,995	4,136	4,253	4,551	4,248	4,720	4,893
要介護2	2,373	2,400	2,377	2,377	2,502	2,326	2,574	2,862
要介護3	1,638	1,589	1,655	1,720	1,675	1,768	1,716	1,918
要介護4	1,968	2,022	2,099	2,263	2,329	2,358	2,388	2,661
要介護5	1,149	1,114	1,125	1,127	1,123	1,218	1,155	1,286
合計	15,404	15,736	16,060	16,359	17,137	16,593	17,624	18,259
認定率	18.6	18.8	18.8	18.9	19.5	19.0	19.8	21.3
要支援計	4,426	4,616	4,668	4,619	4,957	4,675	5,071	5,724
要介護計	10,978	11,120	11,392	11,740	12,180	11,918	12,553	14,040

5,344  
※16,593  
人の32.2%

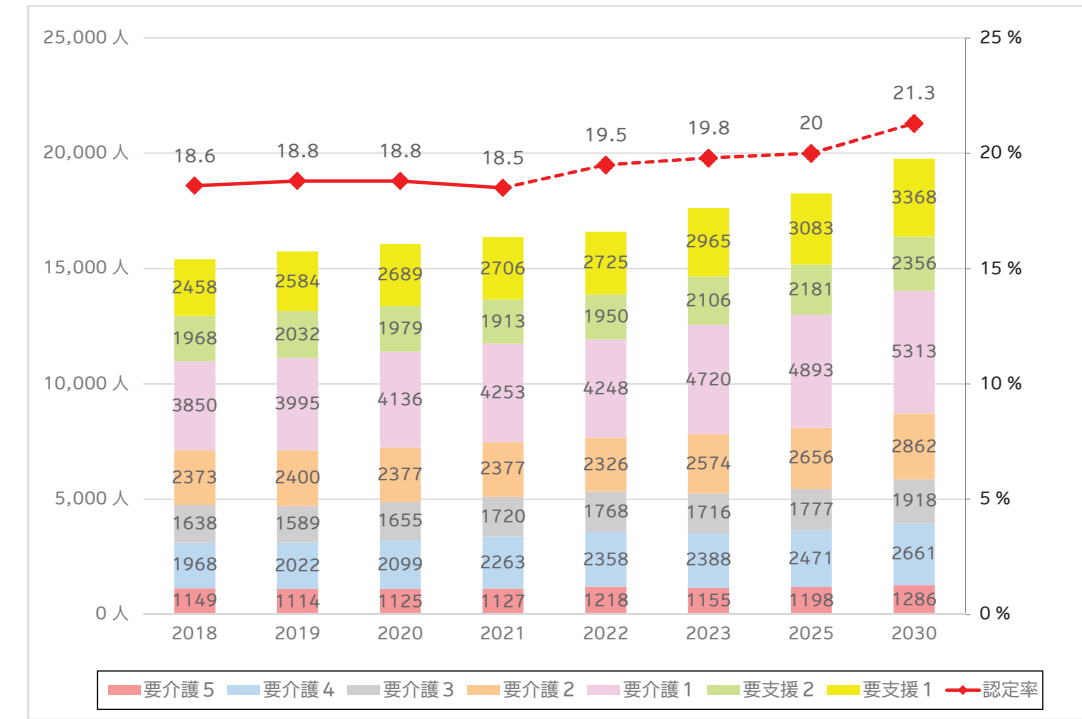
※推計値：各年度10月1日現在  
※実績値：各年度9月末日現在

2022（令和4）年9月末日現在で要介護または要支援の認定を受けている方は、16,593人であり、そのうち要介護3～要介護5の重度者が5,344人で、全認定者数の32.2%となっている。

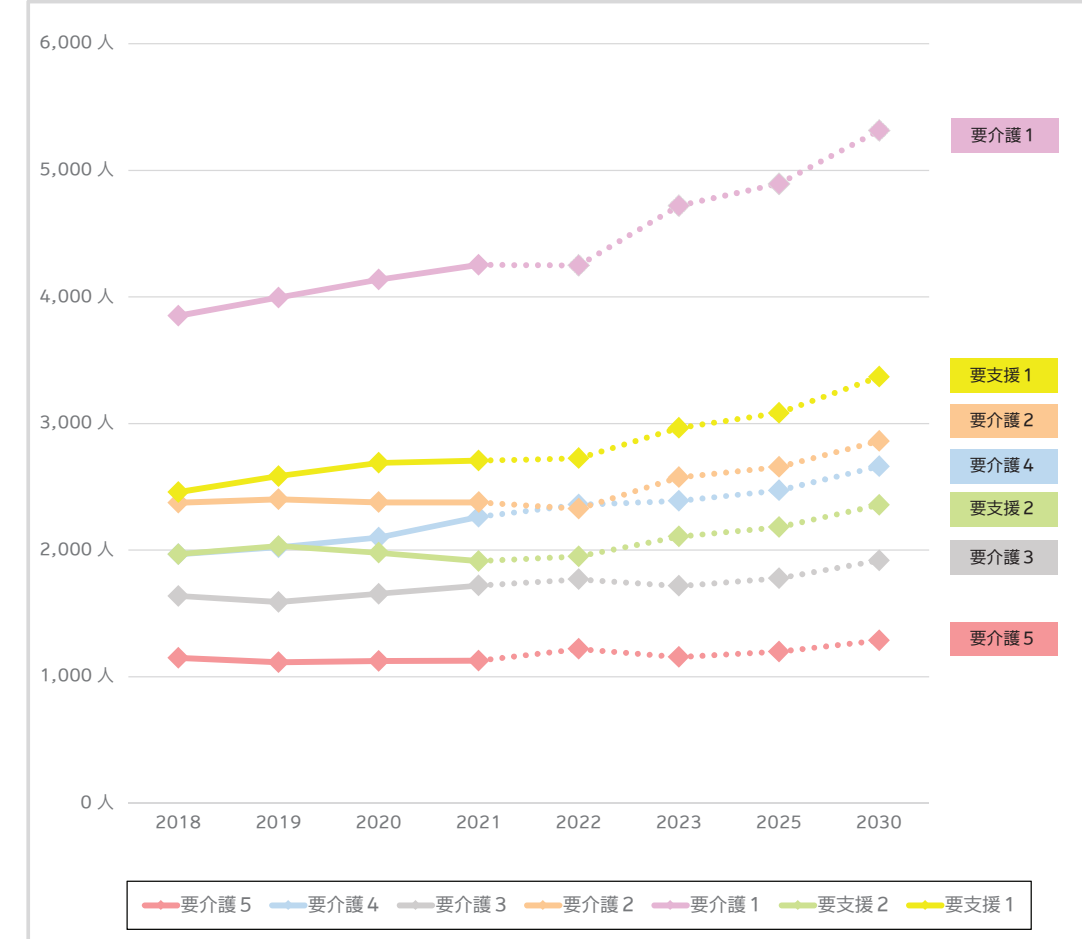
また、2021（令和3）年と2022（令和4）年の比較では、要支援1～要介護2の認定者は前年と同数、要介護3～5の認定者が234名増加しており、より介護度の重い認定者が増加傾向にある。

(参考)  
2023（令和5）年3月末日現在の要介護・要支援認定者数は、要支援1が2,693人、要支援2が1,930人、要介護1が4,230人、要介護2が2,334人、要介護3が1,757人、要介護4が2,351人、要介護5が1,217人で、合計16,512人となっている。

【区分別内訳及び認定率】



【区分別認定数】



令和5年度郡山市地域包括支援センターの職員体制・委託先について

参考資料 2

地域包括支援センター名	高齢者人口	R4職員 配置基準	R5職員配置基準					生活圏域 (民生委員方部)	委託先法人	
	R5.1.1		保健師等	社会 福祉士等	主任 ケアマネ	地域ケア会議・認知 症地域支援推進員分	6,000人以上の 配置員数※			合計
1 郡山北部地域包括支援センター	4,245人	4人	1人	1人	1人	1人		4人	桃見台・大島	医療法人 やすらぎ会
2 郡山中央地域包括支援センター	4,488人	4人	1人	1人	1人	1人		4人	金透・薫・赤木・ 芳山	一般財団法人 太田綜合病院
3 郡山南部地域包括支援センター	6,542人	5人	1人	1人	1人	1人	1人	5人	橘・三中・桜・ 久留米	公益財団法人 湯浅報恩会
4 郡山西部地域包括支援センター	3,540人	4人	1人	1人	1人	1人		4人	開成・桑野の一部	郡山医療生活協同組合
5 芳賀・小原地域包括支援センター	5,496人	4人	1人	1人	1人	1人		4人	小原田・芳賀	公益財団法人 星綜合病院
6 富田地域包括支援センター	8,851人	7人	1人	1人	1人	1人	3人	7人	富田・希望ヶ丘・ 小山田・桑野の一部	一般社団法人 郡山医師会
7 大槻・逢瀬地域包括支援センター	4,951人	4人	1人	1人	1人	1人		4人	大槻町・逢瀬町	社会福祉法人 くわの福祉会
8 大成・大槻東地域包括支援センター	6,939人	5人	1人	1人	1人	1人	1人	5人	大成・大槻東	医療法人 舘グループ
9 安積地域包括支援センター	9,205人	8人	1人	1人	1人	1人	4人	8人	安積町	社会医療法人 あさかホスピタル
10 三穂田地域包括支援センター	1,519人	3人	2人			1人		3人	三穂田町	特定非営利活動法人 後藤至誠記念会
11 片平・喜久田地域包括支援センター	4,657人	4人	1人	1人	1人	1人		4人	片平町・喜久田町	社会福祉法人 愛星福祉会
12 日和田・西田地域包括支援センター	4,122人	4人	1人	1人	1人	1人		4人	日和田町・西田町	社会福祉法人 南東北福祉事業団
13 富久山地域包括支援センター	8,164人	7人	1人	1人	1人	1人	3人	7人	富久山町	一般財団法人 脳神経疾患研究所
14 湖南地区地域包括支援センター	1,582人	3人	2人			1人		3人	湖南町	社会福祉法人 太田福祉記念会
15 熱海地域包括支援センター	2,213人	3人	1人	1人		1人		3人	熱海町	一般財団法人 太田綜合病院
16 田村地域包括支援センター	5,608人	4人	1人	1人	1人	1人		4人	田村町	医療法人 慈繁会
17 郡山東部・中田地域包括支援センター	5,238人	4人	1人	1人	1人	1人		4人	東部・緑ヶ丘・中田町	医療法人 共生会
合計	87,360人	77人	48人			17人	12人	77人		

直営

地域包括ケア推進課基幹包括支援係内に基幹型地域包括支援センターを設置。  
保健師、社会福祉士、主任ケアマネの3職種を配置し、各地域包括支援センター間の総合調整や統括支援を行う。

※郡山市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例  
第3条第3項により高齢者数6,000人以上の場合は1,000人につき  
職員を1人増員とする。

- ・新型コロナウイルス感染症感染者数の増加に伴う感染防止対策のため、通いの場等の多くが中止となった。これにより一般介護予防事業において件数が減少しているが、高齢者の増加をはじめ認知症、家族・近隣関係など高齢者に関わる課題の複雑・多様化に伴い、その他の支援事業においては件数が増加している。
- ・高齢者あんしんセンターごとに、コロナ禍という現状もふまえ、地域の実情に合わせて手法等を工夫しながら業務にあたっている。

## (1) 高齢者あんしんセンターの運営状況

資料1-① ~ 資料1-④

### ア 包括的支援事業実施状況

#### 【包括的支援事業】

##### 〈市民分〉

- ・全体の対応件数は引き続き増加傾向にある。高齢者の増加とともに各種支援制度の狭間にある同居家族への支援などの課題が多様化・複雑化している。
- ・総合相談支援事業では、介護保険制度や保健・医療、生活・福祉に関する相談件数が伸びている。
- ・認知症高齢者の増加に伴い、認知症高齢者に係る相談・対応・支援の件数が伸びている。

##### 〈避難者分〉

- ・避難者が高齢になったことに伴う介護保険制度に関する相談が増えている。特に復興公営住宅がある地域における相談が多い。 ※復興公営住宅：柴宮、富田、日和田、八山田、東原、安積、守山

#### 【ケアプラン請求】

- ・ケアプランの請求件数は、昨年度と比べほぼ横ばい。  
高齢者あんしんセンター別では、概ね高齢者数や事業対象者及び要支援認定者数に比例している。

### イ 認知症地域支援推進員活動状況

資料2

- ・認知症に関する相談件数は年々増加しており、どのエリアも「相談支援・支援体制構築」の割合が多い。認知症地域支援推進員は認知症に関する相談対応をするとともにエリア毎に活動計画を立て活動している。

#### 【令和4年度の活動内容】

〈北西部エリア〉「物忘れ川柳」を募集し、広報こおりやま2月号の認知症特集で優秀作品を表彰した。また、オレンジカフェの開催状況について情報共有を行った。

〈中央部エリア〉地域のコンビニエンスストアや銀行へ認知症ケアパスの配布を実施。地域の実情や特性を確認し高齢者あんしんセンターや認知症地域支援推進員の周知啓発を行った。

また、認知症当事者へこころの声アンケートを実施し、令和5年度に課題分析を実施予定。

〈南東部エリア〉認知症初期段階からの支援の構築と包括の周知も含め、医療機関、薬局へ認知症ケアパスの配布を実施。ケアパスの目的や伝える内容の共有を図った。認知症初期集中支援チーム及び認知症疾患医療センターとの意見交換を実施。

### ウ 地域ケア会議実施状況

資料3-① ~ 資料3-④

※昨年度からは開催件数は増加しているが、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策のため参加者数の制限をするなど規模をかなり縮小して行ったところが多い。

- ・個別会議の開催：67回、高齢者あんしんセンター職員のほか延べ378人が参加。
- ・開催目的別では、①個別課題解決（63件）②ネットワーク構築（33件）③政策形成（2件）
- ・圏域会議の開催回：11回、高齢者あんしんセンター職員のほか延べ209人が出席。
- ・開催目的別では、①地域課題発見（10件）①地域づくり・資源開発（10件）③政策形成（2件）の順。

## エ 基幹型地域包括支援センター活動報告

資料4

- ・①認知症施策の推進（1,620件）②高齢者虐待対応・支援（914件）③精神疾患・多問題ケースに関すること（832件）の順に多かった。

## オ 地域包括支援センターの地域特性について

資料5

- ・資料5のとおり

## 7 報告事項

資料6

### (1) 郡山市高齢者虐待対応状況について

- ・令和4年度に虐待と判断した件数は10件であり、そのうち8件については緊急性があるとして対応を行った。
- ・高齢者虐待の通報者や被虐待者の年齢、虐待の種類等については、概ね県や国調査と同様の結果となっている。

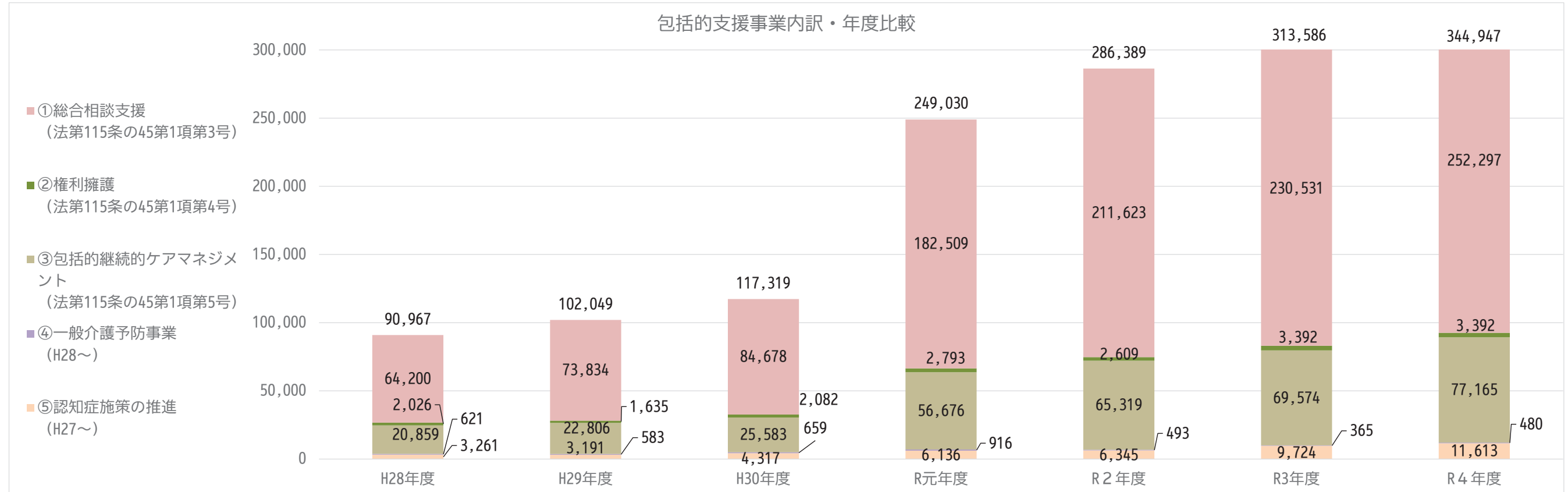
### (2) 令和4年度郡山市成年後見等申立状況について

資料7

- ・成年後見制度の普及や家庭の多様化に伴い、抱える問題が複雑化している。
- ・市長申立てに係る相談経路としては地域包括支援センターからの相談が最も多い。

(1)高齢者あんしんセンターの運営状況について  
 ア 令和4年度包括的支援事業実施状況  
 【年度別】

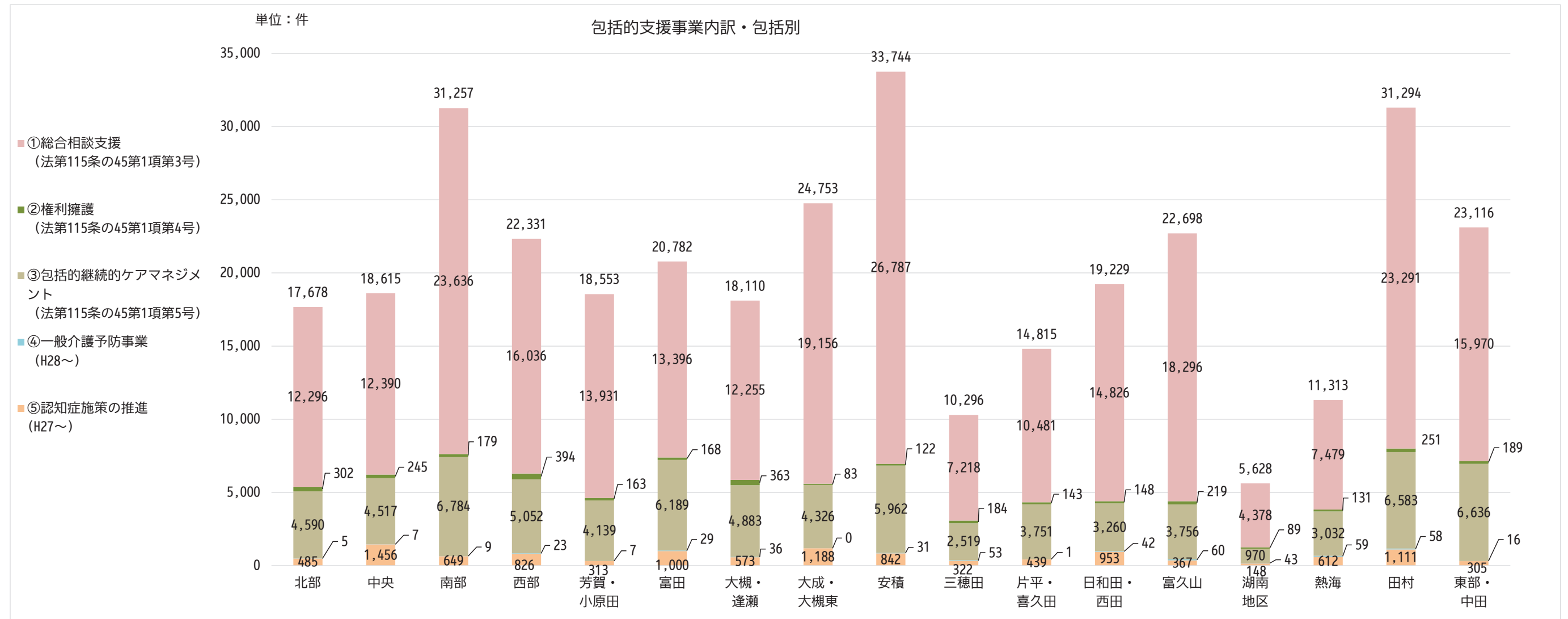
資料1-①



単位：件

包括的支援事業	H28年度			H29年度			H30年度			R元年度			R2年度			R3年度			R4年度		
	郡山市民分	避難者分	計	郡山市民分	避難者分	計	郡山市民分	避難者分	計	郡山市民分	避難者分	計	郡山市民分	避難者分	計	郡山市民分	避難者分	計	郡山市民分	避難者分	計
<b>①総合相談支援</b> (法第115条の45第2項第1号)	63,947	253	64,200	73,615	219	73,834	84,369	309	84,678	182,102	407	182,509	211,549	74	211,623	230,066	465	230,531	251,822	475	252,297
総合相談	60,130	252	60,382	70,619	215	70,834	80,551	305	80,856	178,675	399	179,074	208,738	71	208,809	225,666	454	226,120	246,407	462	246,869
利用手続代行	3,817	1	3,818	2,996	4	3,000	3,818	4	3,822	3,427	8	3,435	2,811	3	2,814	4,400	11	4,411	5,415	13	5,428
<b>②権利擁護</b> (法第115条の45第2項第2号)	2,026	0	2,026	1,635	0	1,635	2,073	9	2,082	2,777	16	2,793	2,609	0	2,609	3,392	0	3,392	3,373	19	3,392
高齢者虐待	1,021	0	1,021	855	0	855	919	4	923	859	0	859	887	0	887	1,132	0	1,132	1,401	18	1,419
成年後見制度	495	0	495	405	0	405	692	0	692	993	16	1,009	1,123	0	1,123	1,473	0	1,473	1,529	1	1,530
消費者保護	168	0	168	54	0	54	67	5	72	148	0	148	130	0	130	390	0	390	222	0	222
病院・施設等への緊急入所等に関するもの	58	0	58	67	0	67	93	0	93												
その他	284	0	284	254	0	254	302	0	302	777	0	777	469	0	469	397	0	397	221	0	221
<b>③包括的継続的ケアマネジメント</b> (法第115条の45第2項第3号)	20,812	47	20,859	22,767	39	22,806	25,477	106	25,583	56,459	217	56,676	65,292	27	65,319	69,360	214	69,574	76,949	216	77,165
<b>④一般介護予防事業</b>	613	8	621	472	111	583	631	28	659	872	44	916	481	12	493	342	23	365	479	1	480
<b>⑤認知症施策の推進</b> (H27～)	3,261	0	3,261	3,190	1	3,191	4,290	27	4,317	6,082	54	6,136	6,338	7	6,345	9,691	33	9,724	11,589	24	11,613
認知症高齢者に係る相談・対応・支援	2,344	0	2,344	2,058	0	2,058	2,912	17	2,929	4,506	53	4,559	5,233	7	5,240	8,410	27	8,437	10,244	24	10,268
認知症初期集中支援チームとの連携	538	0	538	432	0	432	467	0	467	525	0	525	661	0	661	618	1	619	527	0	527
その他認知症施策の推進に関すること	379	0	379	700	0	700	911	10	921	1,051	1	1,052	444	0	444	663	5	668	809	0	809
計	90,659	308	90,967	101,679	370	102,049	116,840	479	117,319	248,292	738	249,030	286,269	120	286,389	312,851	735	313,586	344,212	735	344,947

【センター別（郡山市民分）】

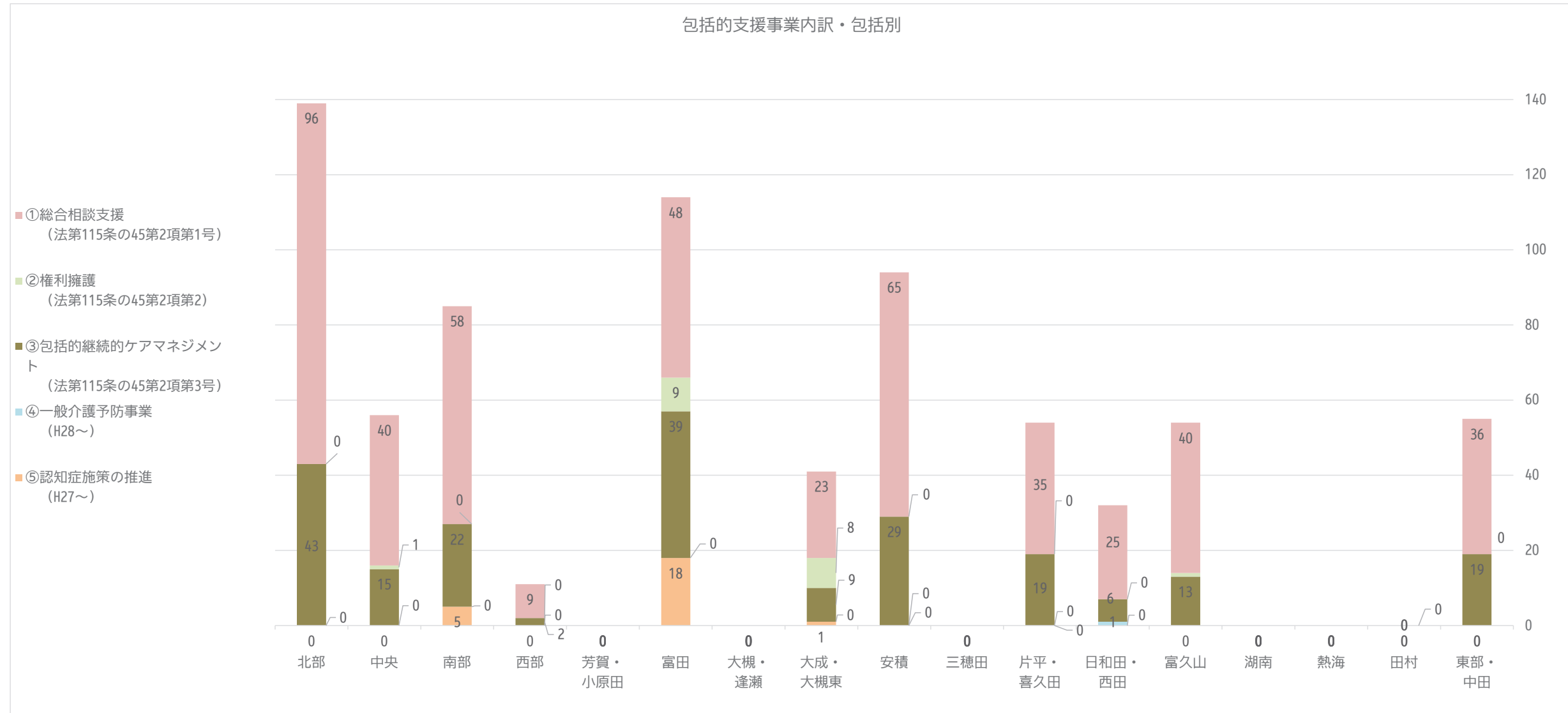


(単位：件)

	北部	中央	南部	西部	芳賀・小原田	富田	大槻・逢瀬	大成・大槻東	安積	三穂田	片平・喜久田	日和田・西田	富久山	湖南地区	熱海	田村	東部・中田	計
高齢者人口 (R4.1.1現在)	4,215人	4,478人	6,442人	3,501人	5,422人	8,743人	4,891人	6,883人	9,154人	1,542人	4,580人	4,103人	8,004人	1,603人	2,243人	5,581人	5,183人	86,568人
高齢化率 (R4.1.1現在)	24.9%	26.6%	26.4%	24.9%	24.1%	24.4%	31.7%	25.8%	26.9%	36.6%	25.4%	28.6%	22.3%	53.4%	43.7%	32.8%	33.5%	27.1%
<b>①総合相談支援</b> (法第115条の45第2項第1号)	12,296	12,390	23,636	16,036	13,931	13,396	12,255	19,156	26,787	7,218	10,481	14,826	18,296	4,378	7,479	23,291	15,970	251,822
総合相談件数	12,103	12,065	23,158	15,773	13,638	13,106	11,908	18,778	26,254	7,139	10,227	14,503	17,746	4,250	7,320	22,875	15,564	246,407
利用手続代行件数	193	325	478	263	293	290	347	378	533	79	254	323	550	128	159	416	406	5,415
<b>②権利擁護</b> (法第115条の45第2項第2号)	302	245	179	394	163	168	363	83	122	184	143	148	219	89	131	251	189	3,373
成年後見制度	116	191	115	174	69	62	98	19	27	50	117	57	51	39	57	179	108	1,529
高齢者虐待対応・支援	153	50	49	188	74	61	229	49	91	71	8	82	161	4	60	48	23	1,401
消費者保護	3	4	5	31	7	14	16	7	4	63	16	9	6	3	12	22	0	222
その他	30	0	10	1	13	31	20	8	0	0	2	0	1	43	2	2	58	221
<b>③包括的継続的ケアマネジメント</b> (法第115条の45第2項第3号)	4,590	4,517	6,784	5,052	4,139	6,189	4,883	4,326	5,962	2,519	3,751	3,260	3,756	970	3,032	6,583	6,636	76,949
<b>④一般介護予防事業</b>	5	7	9	23	7	29	36	0	31	53	1	42	60	43	59	58	16	479
<b>⑤認知症施策の推進</b> (H27～)	485	1,456	649	826	313	1,000	573	1,188	842	322	439	953	367	148	612	1,111	305	11,589
認知症高齢者に係る相談・対応・支援	478	1,369	593	753	282	862	549	1,144	764	42	433	717	322	119	580	1,007	239	10,253
認知症初期集中支援チームとの連携	6	81	54	48	10	34	14	27	56	6	6	46	24	4	2	64	45	527
その他認知症施策の推進に関すること	1	6	2	25	21	104	10	17	22	274	0	190	21	25	30	40	21	809
計	17,678	18,615	31,257	22,331	18,553	20,782	18,110	24,753	33,744	10,296	14,815	19,229	22,698	5,628	11,313	31,294	23,116	344,212



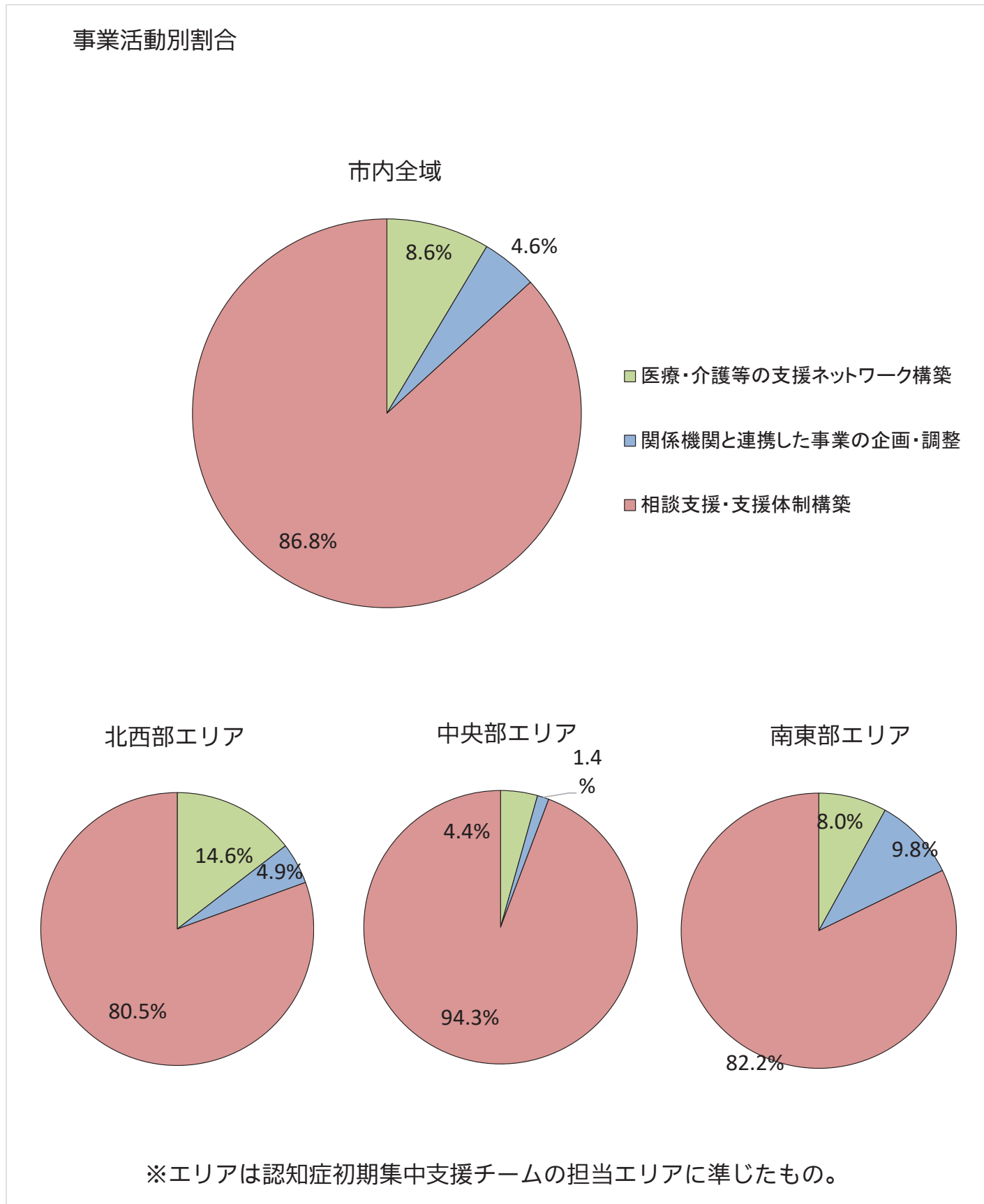
【センター別（避難者分）】



		北部	中央	南部	西部	芳賀・小原田	富田	大槻・逢瀬	大成・大槻東	安積	三穂田	片平・喜久田	日和田・西田	富久山	湖南	熱海	田村	東部・中田	計	
支援対象者数	(延べ人数)	2	3	6	1	0	6	0	7	5	0	4	2	4	0	0	0	2	42	(人)
	(実人数)	2	3	6	1	0	6	0	7	5	0	4	2	4	0	0	0	2	42	
①総合相談支援 (法第115条の45第2項第1号)		96	40	58	9	0	48	0	23	65	0	35	25	40	0	0	0	36	475	(件)
②権利擁護 (法第115条の45第2項第2)		0	1	0	0	0	9	0	8	0	0	0	0	1	0	0	0	0	19	
③包括的継続的ケアマネジメント (法第115条の45第2項第3号)		43	15	22	2	0	39	0	9	29	0	19	6	13	0	0	0	19	216	
④一般介護予防事業 (H28～)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
⑤認知症施策の推進 (H27～)		0	0	5	0	0	18	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	
計		139	56	85	11	0	114	0	41	94	0	54	32	54	0	0	0	55	735	



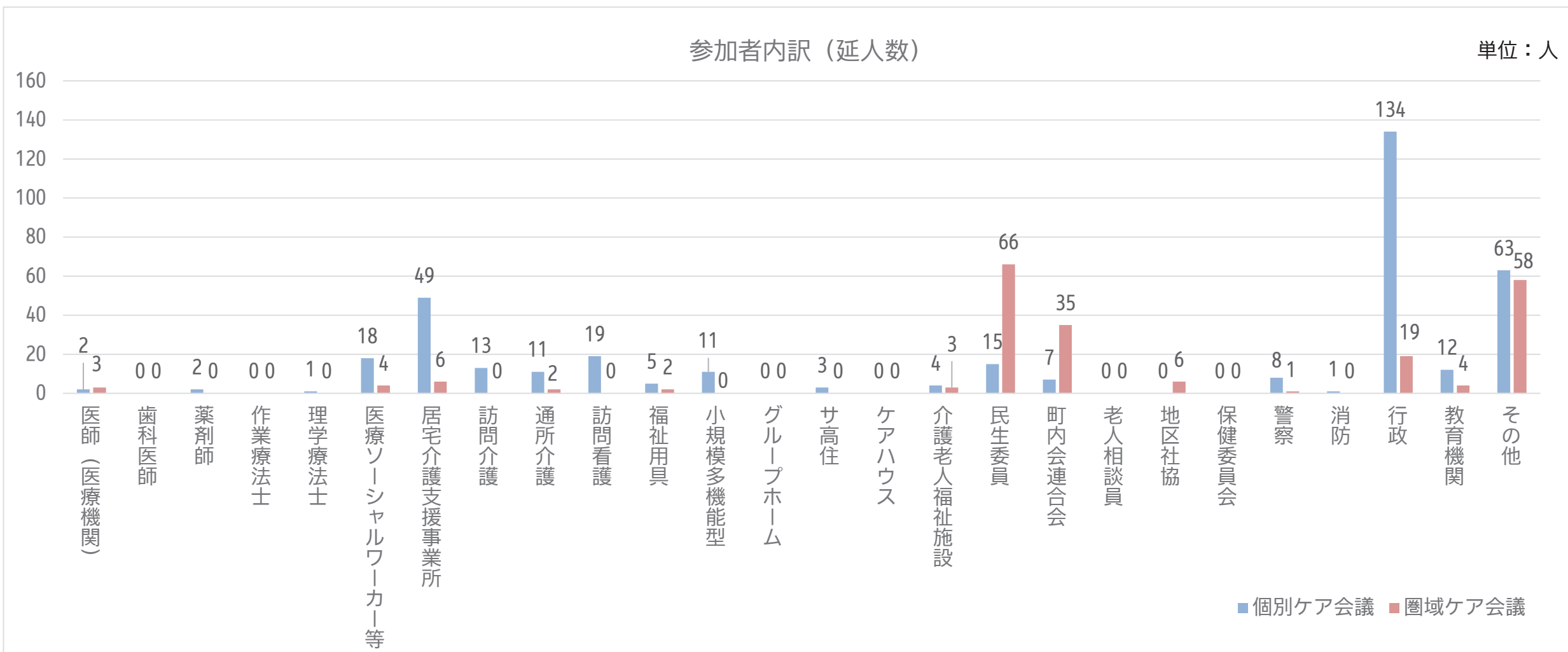
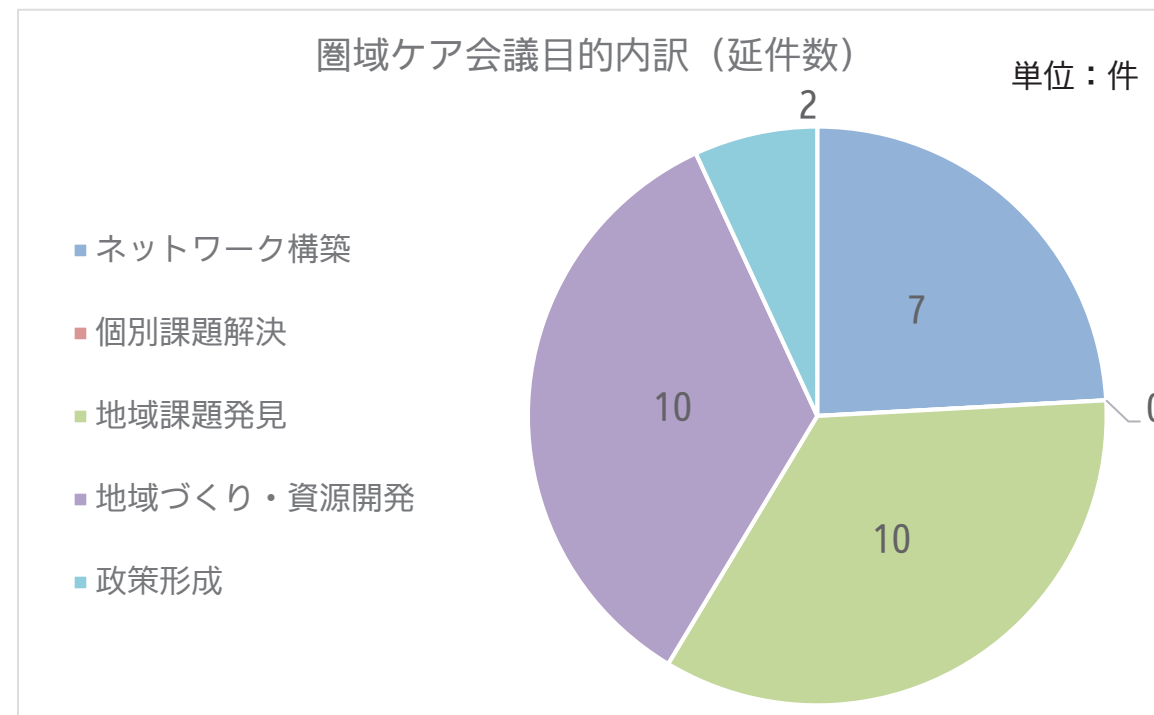
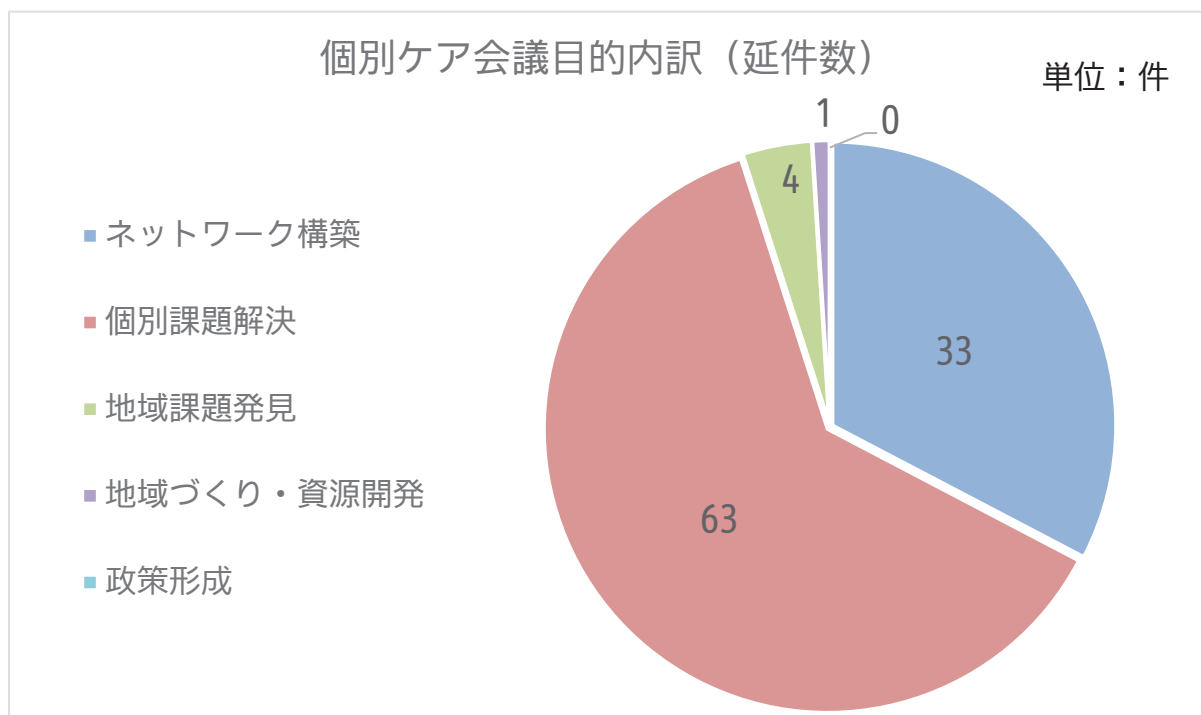
(1)イ 令和4年度認知症地域支援推進員活動状況



エリア	包括名	認知症地域支援推進員人数	医療・介護等の支援ネットワーク構築	関係機関と連携した事業の企画・調整	相談支援・支援体制構築	合計
			認知症ケアパスの配布・周知 認知症施策の周知 SOS見守りネットワーク 会議・研修会の出席	オレンジカフェ 認知症サポーター ステップアップサポーター 会議・研修会の開催	相談・対応・支援 認知症初期集中支援チーム との連携 本人を視点とした支援 若年性認知症の支援について	
1	富田	3	161	56	909	1,126
2	片平・喜久田	2	25	37	490	552
3	日和田・西田	3	286	63	873	1,222
4	富久山	2	53	24	365	442
5	湖南	1	54	10	125	189
6	熱海	2	30	14	604	648
小計		13	609	204	3,366	4,179
7	北部	5	69	29	515	613
8	中央	3	26	2	1,410	1,438
9	南部	4	37	5	658	700
10	西部	3	55	25	827	907
11	大槻・逢瀬	3	21	10	574	605
12	大成・大槻東	3	31	4	1,182	1,217
小計		21	239	75	5,166	5,480
13	芳賀・小原田	3	14	10	298	322
14	安積	2	26	14	820	860
15	三穂田	3	28	276	73	377
16	田村	3	41	9	1,149	1,199
17	東部・中田	2	155	13	369	537
小計		13	264	322	2,709	3,295
合計		47	1,112	601	11,241	12,954

※推進員人数は令和4年度末時点。

(1)ウ 令和4年度地域ケア会議実施状況



令和4年度 地域ケア会議（個別）実績報告書

資料3-②

(単位：人)

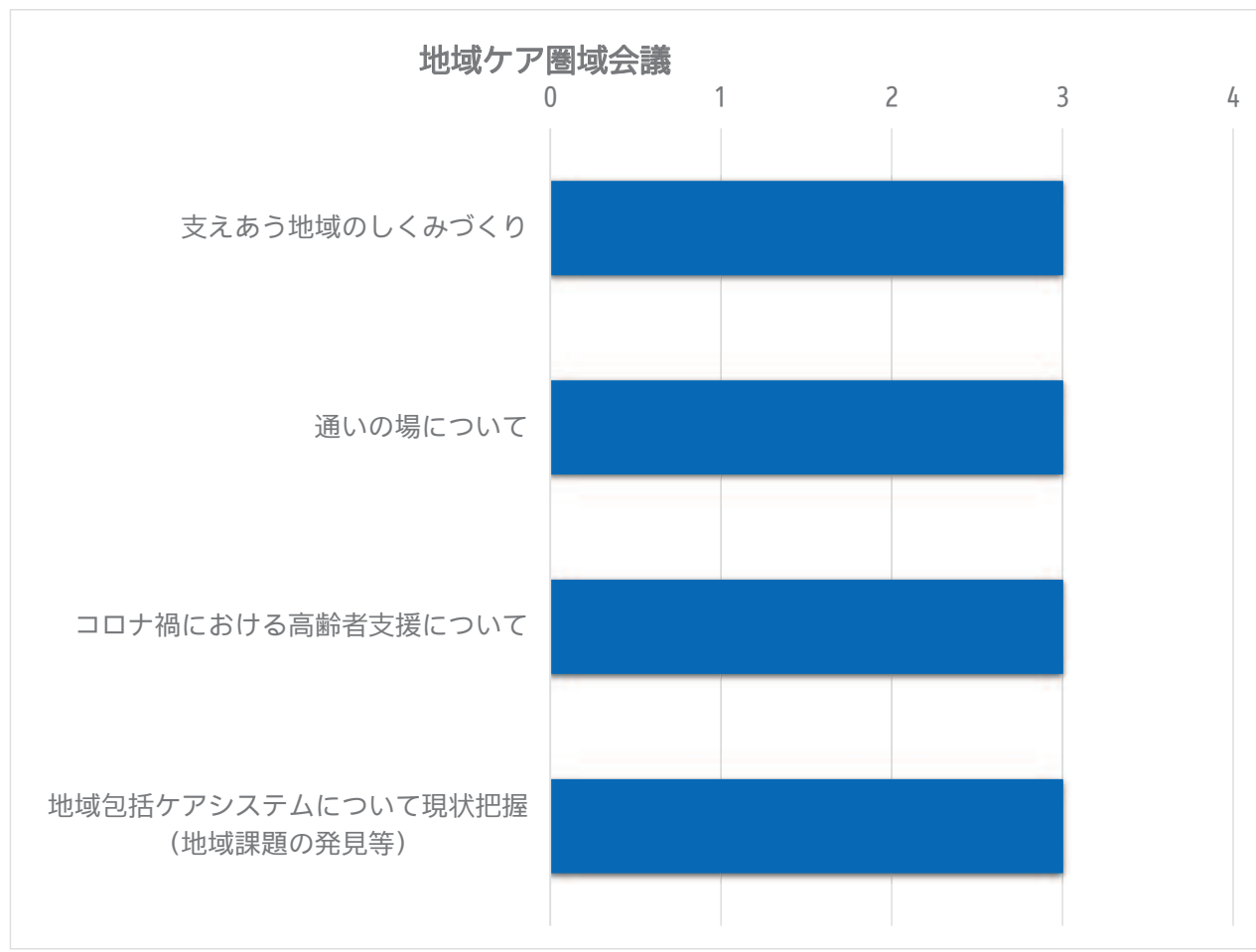
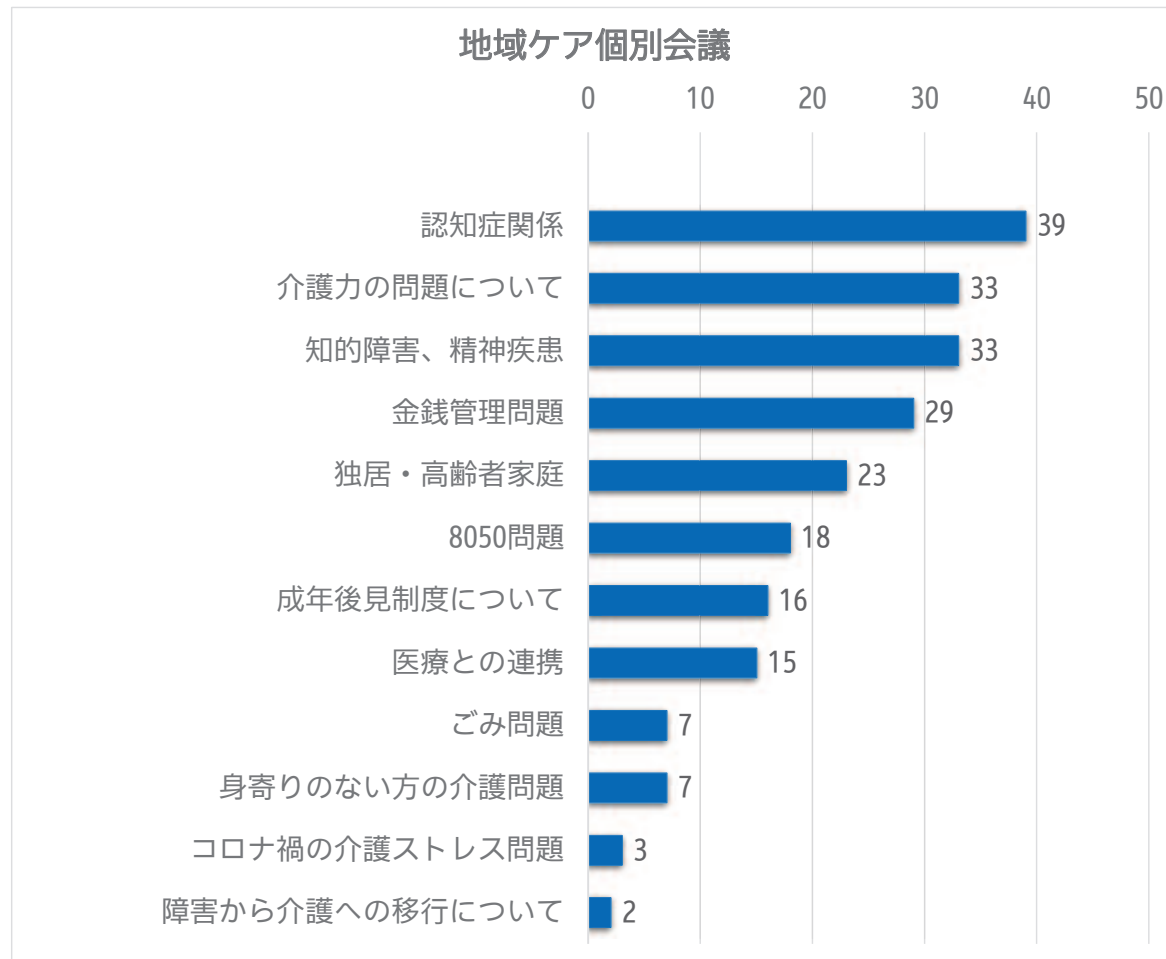
包括名	会議の種別	果たされた地域ケア会議の機能						検討したケースの数	包括職員出席人数	参加者内訳																								参加者計	
		ネット構築	個別課題解決	地域課題発見	・地域づくり資源開発	政策提言	医師(医療機関)			歯科医師	薬剤師	OT作業療法士	PT理学療法士	MSW等医療ソーシャルワーカー等	居宅	訪問介護	通所介護	訪問看護	福祉用具	小規模多機能型	グループホーム	サ高住	ケアハウス	介護老人福祉施設	民生委員	町内会連合会	老人相談員	地区社協	保健委員会	警察	消防	行政	教育機関		*その他
1 北部	4	4	4	0	0	0	4	8	0	0	1	0	0	3	2	1	2	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	10	0	2	25
2 中央	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 南部	9	4	8	0	0	0	10	19	1	0	0	0	0	1	5	3	2	2	3	4	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	17	0	10	52
4 西部	6	4	6	1	1	0	8	12	1	0	1	0	1	1	4	6	2	3	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	15	0	4	40	
5 芳賀・小原田	2	1	2	0	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	3	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	10	
6 富田	3	3	3	0	0	0	4	6	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	5	2	14		
7 大槻・逢瀬	6	2	6	2	0	0	6	16	0	0	0	0	0	3	4	0	1	1	1	2	0	0	0	3	1	0	0	0	1	0	16	0	3	36	
8 大成・大槻東	5	0	5	0	0	0	5	9	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	9	0	7	25		
9 安積	5	0	5	0	0	0	5	8	0	0	0	0	0	1	6	1	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	7	0	3	23		
10 三穂田	5	5	5	0	0	0	5	13	0	0	0	0	0	4	2	0	1	3	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	3	0	13	0	11	41	
11 片平・喜久田	5	2	5	0	0	0	5	7	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	3	1	21		
12 日和田・西田	2	0	2	0	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	10		
13 富久山	4	1	4	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	1	5	1	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	4	8	25		
14 湖南地区	5	1	2	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	1	12		
15 熱海	1	1	1	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	11		
16 田村	2	2	2	0	0	0	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	10	0	2	15			
17 東部・中田	3	3	3	0	0	0	5	6	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	1	0	2	0	8	18		
合計	67	33	63	4	1	0	72	135	2	0	2	0	1	18	49	13	11	19	5	11	0	3	0	4	15	7	0	0	8	1	134	12	63	378	

(単位：人)

包括名	会議の種別	果たされた地域ケア会議の機能					検討したケースの件数	包括職員出席人数	参加者内訳																										参加者計													
		ネットワーク構築	個別課題解決	地域課題発見	地域づくり・資源開発	政策形成			医師(医療機関)	歯科医師	薬剤師	OT作業療法士	PT理学療法士	MSW等医療ソーシャルワーカー等	居宅	訪問介護	通所介護	訪問看護	福祉用具	小規模多機能型	グループホーム	サ高住	ケアハウス	介護老人福祉施設	民生委員	町内会連合会	老人相談員	地区社協	保健委員会	警察	消防	行政	教育機関	*その他														
1 北部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
2 中央	1	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	15	18				
3 南部	1	0	0	1	1	0	0	6	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6	0	1	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	21						
4 西部	2	2	0	2	2	2	0	9	1	0	0	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	10	0	1	0	0	0	0	0	0	7	2	21	82								
5 芳賀・小原田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
6 富田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
7 大槻・逢瀬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
8 大成・大槻東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
9 安積	3	2	0	3	2	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	3	18	14	0	1	0	0	0	0	0	2	0	14	56	56								
10 三穂田	1	1	0	1	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	11						
11 片平・喜久田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
12 日和田・西田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
13 富久山	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	6	9
14 湖南地区	1	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	
15 熱海	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
16 田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17 東部・中田	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8
合計	11	7	0	10	10	2	0	36	3	0	0	0	0	4	6	0	2	0	2	0	0	0	0	0	3	66	35	0	6	0	1	0	0	19	4	58	209	209	209									

令和4年度 地域ケア会議（個別・圏域）の主な協議内容について ※重複あり

資料3-④



《地域ケア個別会議の役割》

個別課題の解決、介護支援専門員による自立支援に資するケアマネジメント支援、地域支援ネットワークの構築、地域課題の把握等を行う。

《地域ケア個別会議の内容》

例年同様、認知症への対応や、精神疾患の家族、生活困窮など複合的な問題を抱える相談が多い。また、身寄りがない高齢者の増加だけでなく、コロナ禍により遠方に住む家族が自由に行き来できないことから独居・高齢者家庭に関する会議も多く開催している。複雑化・多様化する課題について今後も関係機関とケア会議を実施しながら連携し支援していく必要がある。

《地域ケア圏域会議の役割》

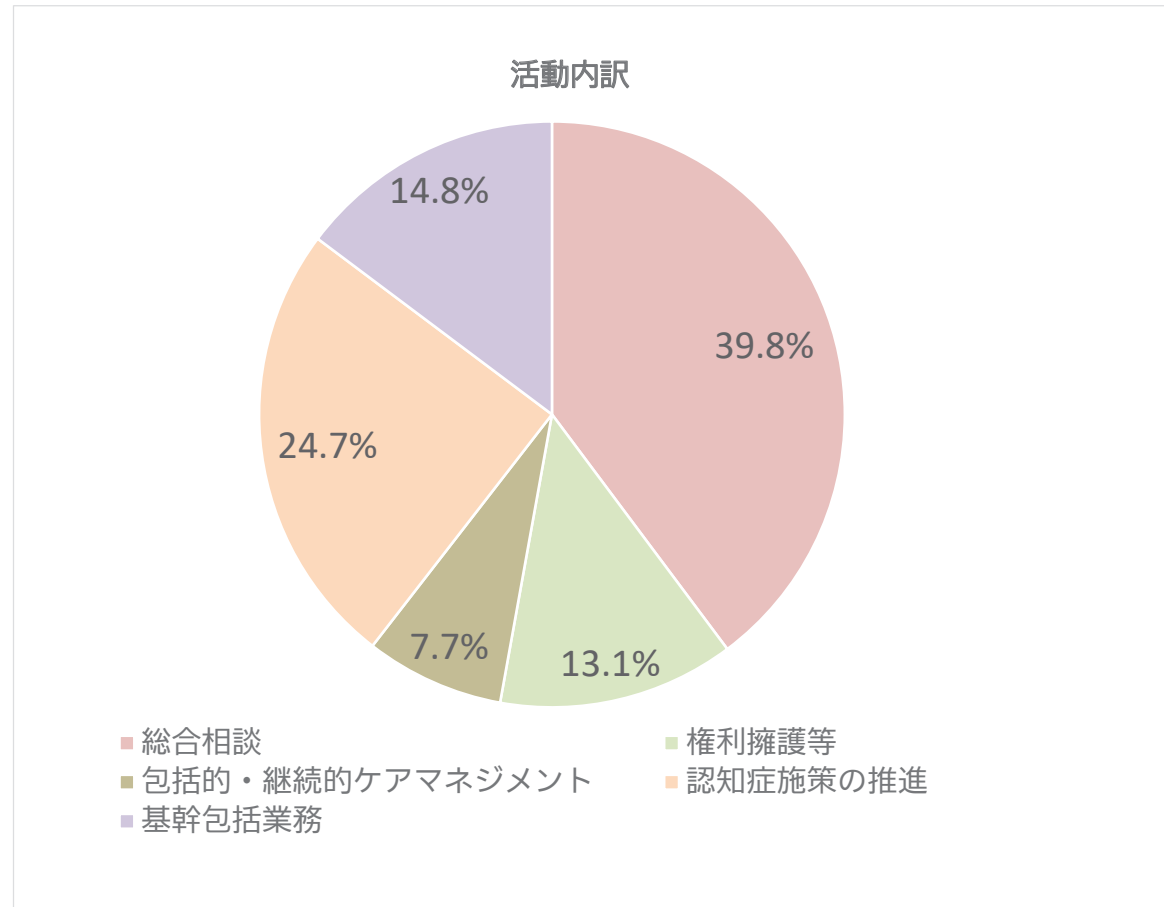
個別ケア会議から把握された地域課題について、資源開発や政策形成等の意見交換を行い、地域ケア推進会議へ、その内容を報告をする。

《地域ケア圏域会議の内容》

「高齢者が地域でいつまでも暮らせるために」どう支援をしていくか、様々な角度から検討されている。各地域の実情に応じた議題で会議を実施しているが特に令和4年度は地区の民生委員も改選したことからもう一度地域の現状について振り返り地域課題は何かということを考える内容が増加している。その上でそれらの地域課題に対してコロナ禍でも地域でどう支え合うかを検討するなど、前向きな内容でも開催されている。

# (1) エ 令和4年度基幹型地域包括支援センター活動報告

資料4



### 《事業実施方針》

高齢者あんしんセンターの目的達成に向け、各高齢者あんしんセンター間の連絡調整や助言指導、後方支援等を行うことにより、委託による高齢者あんしんセンターとの一体的な運営を行う。

### 《主な業務》

- ・高齢者あんしんセンターの連絡調整に関する事
- ・高齢者あんしんセンターの資質の向上に関する事
- ・高齢者あんしんセンターの自己評価・実施点検に関する事
- ・地域包括支援センター運営協議会に関する事
- ・高齢者困難事例対応支援に関する事
- ・地域ケア推進会議に関する事
- ・介護予防ケアマネジメントに関する事
- ・地域包括支援センター連絡協議会事務局の運営に関する事

### 《困難事例等対応以外の活動について》

- ・地域ケア会議への対応
- ・認知症各種施策への対応
- ・包括連絡協議会関係の研修や会議の調整等
- ・ブロックや委員会、部会ごとの会議等に参加し、連絡調整を含む業務を分担
- ・在宅医療・介護連携事業の推進

単位：件

		総合相談・支援業務									権利擁護等				包括的・継続的ケアマネジメント				認知症施策の推進				基幹包括業務				業務総件数						
		介護保険制度に関する事	保健・医療に関する事	生活・福祉に関する事	と精神疾患・多問題ケース等に関する事	地区組織への支援	その他の相談	地域型高齢者あんしんセンターに関する事	実態把握	合計	成年後見制度等に関する事	高齢者虐待対応・支援	消費者保護に関する事	その他（左記以外）	合計	関係機関との連携調整	高齢者あんしんセンター間の調整	ケア会議実施に際しての関係機関との連絡	点検・評価に関する事	高齢者あんしんセンターの効果測定	合計	認知症高齢者に係る相談・対応・支援	認知症初期集中支援チームとの連携	行方不明者・身元不明者等への対応	その他認知症施策の推進に関する事	合計		委員会・部会・役員会に関する事	その他の会議に関する事	日報月報等の報告に関する事	指導に関する事	各高齢者あんしんセンターへの助言・	高齢者あんしんセンターの運営に関する事
基幹型	電話	571	473	509	593	11	270	98	177	2,702	211	651	3	3	868	566	6	44	0	616	473	4	109	1,571	2,157	257	251	61	20	151	263	1,003	7,346
	来所	123	89	117	96	5	44	26	6	506	49	120	3	5	177	43	1	4	0	48	84	1	0	39	124	17	69	14	0	7	33	140	995
	訪問	35	23	58	50	2	10	0	7	185	26	55	2	3	86	32	0	5	0	37	21	0	0	3	24	7	4	0	39	46	7	103	435
	庁内	66	36	109	93	0	45	5	26	380	16	88	1	2	107	23	0	3	0	26	34	0	0	7	41	8	49	2	0	13	82	154	708
	小計	795	621	793	832	18	369	129	216	3,773	302	914	9	13	1,238	664	7	56	0	727	612	5	109	1,620	2,346	289	373	77	59	217	385	1,400	9,484

※保健師3名 主任介護支援専門員1名 社会福祉士2名 計6名の活動状況を計上



## 郡山北部高齢者あんしんセンター

基本情報（令和5年4月1日現在）
人口： 16,664人 高齢者人口： 4,273人 高齢化率： 25.6% 日常生活圏域： 1（北部） 地域包括支援センター職員体制：（5名） 保健師等2名 社会福祉士1名 主任介護支援専門員1名
地域の概要
<p>① 郡山市の旧市内、中心部。市役所を含み金融機関・大規模のショッピングセンターも多数あり独居高齢者や高齢者世帯が親族を頼らず自立生活が可能な地域</p> <p>② 医療面では急性期対応、有病床の病院が圏域内に3か所。一般診療所11か所と多数あるが、市内中心部のため圏域外医療機関への受診、通院も容易。</p> <p>③ 民生委員2地区のうち、桃見台地区は高齢化率が市の平均値より高いが、交流の歴史もあり住民間、特に高齢者同士の互助が構築されている。そのため協議体はいち早く設置できその後も活動が活発である。</p> <p>④ 交通の便はいいが、バス利用の運行路はわかりづらい。自家用車利用かタクシー利用が主となるが、受診は各病院のシャトルバスを上手に利用している高齢者もいる。</p> <p>⑤ 小学校2校、中学校1校。高校1校の他、専門学校もあり生活の中で高齢者と学生が交流する場面もある（実習場所や町内行事、講座等での交流など）</p>
地域課題
<p>1) 地域概要①より、自立できている状態では高齢者の独居生活、夫婦生活は容易であるが、体調不良や転倒等による急激なADL低下により、生活全般で緊急に環境整備、介護支援が必要となるケースが多い。（ゴミ捨てや外出支援依頼多数） その中でも家族・親族と疎遠の高齢者は互助支援も対応できず孤独を生みやすい。いわゆる【困難ケース】へ移行する場合も多い。<b>住居の保証人・身元引受人等成年後見問題の対応ケースが近年増えている</b></p> <p>2) 地域概要③より、桃見台地区は互助の構築で協議体活動も活発であるが、一方で大島地区の協議体は令和2年1月に設置した後、活動は滞っており今後どう推進していくかが課題である。</p> <p>3) 地域概要④より、交通の便はいいように感じつつ、自家用車（車）の利用で生活が成り立っている方が多数。歩いて通える範囲に商業施設があっても歩行困難となると互助の構築ができていないとタクシーのみ利用となり経済面の相談を受ける。地域資源として通いの場の発掘や互助による移動手段がほとんどない。 （今後益々重要な課題になると思われる）</p> <p>4) 地域概要①により、利便性が良いため高齢者だけでなく生活困窮者（生活保護受給者）の若い方（主に50代）、障がい者も多い。そういった方が体調急変、地域でのトラブルにより地域包括支援センターへ相談、介入する事例もある。そのため普段から高齢者対応以外の各機関とも連携強化を図っていくべき地域である。 （いわゆる重層的支援体制の構築、共生社会問題）</p>

## 郡山中央高齢者あんしんセンター

資料5

基本情報（令和5年4月1日現在）
人口：16,801人 高齢者人口：4,539人 高齢化率：27.0% 日常生活圏域：1（中央） 地域包括支援センター職員体制：（4名） 保健師1名、社会福祉士1名、主任介護支援専門員2名
地域の概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・金透、芳山、薫、赤木の民生委員の担当区域4方部。</li> <li>・東は東北本線から南は文化通り周囲、西は内環状線周囲、北は逢瀬川を担当地域とした郡山市の中心部、旧市内と呼ばれる地域。</li> <li>・駅前の商業やマンションが多い地域から閑静な住宅街が広がる。</li> <li>・比較的富裕層が多く住む地域と生活保護世帯が多い地域が混在している。</li> <li>・高齢者の一人暮らしや高齢者世帯の割合が多い。</li> <li>・居宅介護支援事業所3か所、その他居宅サービス事業所は13か所。 施設サービス事業所5か所、地域密着型サービス事業所4か所。 （令和5年3月1日現在）</li> <li>・病院5か所。一般診療所31か所。歯科医院25か所。 （令和4年6月1日現在）</li> </ul>
地域課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションが多く、町内会への未加入など地域との関わりが希薄</li> <li>・コロナ禍の影響から地域活動の機会が減っている。</li> <li>・坂道が多く加齢や身体機能の低下により買い物や外出が困難になることが多い。</li> <li>・支え手側の地域組織の方々も高齢化している</li> <li>・認知症高齢者が多く、一人暮らしや高齢世帯の多さも進行してからの介入が多い。</li> <li>・ごみ屋敷、セルフネグレクト的なケースが多い。</li> </ul>

## 郡山南部高齢者あんしんセンター

基本情報（令和5年4月1日現在）
人口：24,243人 高齢者人口：6,573人 高齢化率：27.1% 日常生活圏域：1（南部） 地域包括支援センター職員体制：（6名） 保健師4名、社会福祉士1名 主任介護支援専門員1名
地域の概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・橘、三中、桜、久留米の4つの地域を担当。高齢者の19%が介護認定を受けており、介護サービスを利用している地域割合は桜33%、久留米30%、橘19%、三中18%となっている。</li> <li>・ 居宅介護支援事業所 2カ所、それ以外の居宅サービス事業所 14カ所                          地域密着型サービス事業所 9カ所</li> <li>・ 病院 1カ所 一般診療所 17カ所 歯科医院 15カ所</li> <li>・ 大規模小売店舗 2店舗 コンビニ 11店舗 ドラッグストア 4店舗</li> <li>・ 市のほぼ中心部に位置し主要道路が多く、交通の利便性はよい。</li> <li>・ 高齢の一人暮らしや高齢の夫婦世帯が多い。</li> <li>・ マンションやアパートなどが多い。</li> <li>・ 小学校・中学校・高校があり、子供の見守り体制がある。</li> </ul>
地域課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い世代が減少し、担い手不足が深刻化している。</li> <li>・ 公民館のない地域や公民館まで行けない地域の方は交流の機会が少ない。</li> <li>・ 若い世代の方との交流が少ない。</li> <li>・ 近くに買い物をするスーパーがない所もあり、買い物に困っている地域がある。</li> <li>・ マンション・アパートの方は、地域住民との交流がほとんどない。</li> <li>・ 坂道が多く、移動が大変である。</li> <li>・ 身寄りのない方や家族と疎遠な方が増えている。</li> </ul>

## 郡山西部高齢者あんしんセンター

基本情報（令和5年4月1日現在）
人口：13,676人 高齢者人口：3,530人 高齢化率：25.6% 日常生活圏域：1（西部） 地域包括支援センター職員体制：（4名） 保健師等1名、社会福祉士2名、主任介護支援専門員1名
地域の概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郡山市の中心に位置し、市役所にも徒歩圏内である。東西、南北にバスが通っており、交通の便は悪くない。地域には開成山公園はじめとし、公園が多くある。</li> <li>・ 中規模のスーパーマーケットやドラッグストアが多い。</li> <li>・ クリニックが多数あり、総合病院までも遠くない。</li> <li>・ 高齢化が進む一方で、地域によっては新しい家が建つ。</li> <li>・ 大学があるため、单身用のアパートが多く、少子化が進んだ現在では高齢の単身世帯が多く住んでいる。</li> <li>・ 小学校2校、保育所や幼稚園、高校2校、大学がある。</li> <li>・ デイサービス 8箇所、小規模多機能型居宅介護 2箇所。</li> </ul>
地域課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 独居高齢者や高齢者世帯の割合が多い。身内が近くにいないことも多く、入院や施設入所の際に保証人を誰に（どこに）依頼するかの問題が出てきている。</li> <li>・ 他県出身で就労のために郡山に来た、というような地元出身者ではない方も多い。頼れる身内や知り合いが郡山におらず、地域との接点もないため、支援が必要となっても支援につながりにくい。</li> <li>・ 集まることができる場所が公民館等限られている。</li> <li>・ オレンジカフェや通いの場に行きたくても行くことができない人もいる。（移動手段の問題。）</li> <li>・ 商店や小規模のスーパーマーケットが閉店し、買い物に困っている人がいる。</li> <li>・ コロナ渦で地域活動が縮小した。</li> <li>・ ごみ捨て場までが遠く、出しに行くことができない高齢者がいる。</li> <li>・ 銀行の支店の統合により、地域に支店がなくなり、銀行手続きができなくなっている高齢者がいる。あんしんサポートや後見制度等につなげていく必要がある。</li> </ul>

## 芳賀・小原田高齢者あんしんセンター

<p>基本情報（令和5年4月1日現在）</p> <p>人口：22,326人                  高齢者人口：5,500人                  高齢化率：24.6%                  日常生活圏域：1（芳賀・小原田）                  地域包括支援センター職員体制：（7名+事務1名）                  保健師2名、社会福祉士3名、社会福祉士等1名、主任介護支援専門員1名</p>
<p>地域の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郡山駅の東側から阿武隈川流域と南は郡山警察署、五百淵までの地域がエリア。</li> <li>・ショッピングセンター、スーパー、コンビニ、飲食店等商業施設が多い。</li> <li>・幼稚園4か所、小学校2校、中学校2校、専門学校等教育施設がある。</li> <li>・病院、クリニック、歯科合わせて30か所ある。</li> <li>・サービス付き高齢者向け住宅8か所、グループホーム5か所ある</li> </ul>
<p>地域課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阿武隈川が南北に流れ、度々水害に見舞われている。</li> <li>・賃貸物件なども多く、町内会で把握できない高齢者もいる。</li> <li>・買い物に支援が必要な相談が増えている。</li> <li>・金銭管理にサポートが必要な方は増えている。現状として、あんしんサポートに申し込んでも待機者が多くすぐ利用できない。</li> <li>・身内のサポートが難しくなっている相談が増えている。</li> </ul>

## 富田高齢者あんしんセンター

<p>基本情報（令和5年4月1日現在）</p> <p>人口：35,166人                  高齢者人口：8,871人                  高齢化率：25.2%                  日常生活圏域：1（富田）                  地域包括支援センター職員体制：（8名）                  保健師4名、保健師等1名、社会福祉士1名、社会福祉士等1名、主任介護支援専門員1名</p>
<p>地域の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の一人暮らし、高齢夫婦のみの世帯が増加している。</li> <li>・担当地区北側に郡山インターチェンジがあり流通業務施設が多く立地され、平成29年より「郡山富田駅」が公共交通の利用促進や地域の活性化のため設置された。</li> <li>・市営住宅（小山田・希望ヶ丘）のため居住環境の相談を受ける事も多い。</li> <li>・大規模小売店舗のうち10,000㎡以上はカインズホーム富田店1か所、それ以外は8か所となっている。（R4年6月郡山市商業まちづくり基本構想より）</li> <li>・病院3か所、診療所21か所、歯科18か所、地域公民館4か所、地区集会所が11か所</li> <li>・居宅介護支援事業所7か所、それ以外の居宅サービス事業所23か所</li> <li>・施設サービス事業所1か所、地域密着型サービス事業所が13か所</li> </ul>
<p>地域課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4階建ての市営住宅については低層階への住み替えの検討及び手続きの援助を行う必要がある。</li> <li>・市営住宅入居者は経済的にゆとりのない方や身寄りがない又は子供や兄弟がいても協力が得られない等、多問題ケースとなる方が多い。</li> <li>・ゴミ収集場所や回収時間によりゴミ捨てに支障がある。</li> <li>・R5年5月より院内で認知症カフェを再開するが、認知症の相談が多いことから地域の中で集うことができる「地域型認知症カフェ」が必要とされている。</li> </ul>

## 大槻・逢瀬高齢者あんしんセンター

基本情報（令和5年4月1日現在）
人口：15,226人 高齢者人口：4,982人 高齢化率：32.7% 日常生活圏域：2（大槻、逢瀬） 地域包括支援センター職員体制：（5名） 保健師等1名、社会福祉士2名、主任介護支援専門員2名
地域の概要
逢瀬地区は高齢化率が高いが、市内の他の地域と比較し一人暮らし・二人暮らしの割合は45%とやや低め。若い世代と同居している割合が53.2% ・ 居宅介護支援事業所：2ヶ所 ・ 他の居宅サービス事業所 ヘルパー：3ヶ所、訪看：1ヶ所、デイ：2ヶ所、短期入所：2ヶ所、福祉用具：1ヶ所 ・ 施設（特養）：1ヶ所 ・ 地域密着型デイ：2ヶ所、認知型デイ：2ヶ所、小多機：3ヶ所、GH：3ヶ所、地域密着型特養：1ヶ所 ・ 病院：0か所、一般診療所：6ヶ所 歯科医院：3ヶ所※大槻地区のみ 路線バス（福島交通）は大槻車庫までの運行。路線バス廃止区間（主に逢瀬地区）は乗り合いタクシーが運行中。他、医療機関の送迎バスを利用。
地域課題
・ 近くに大型スーパーがなく、移動手段のない高齢者は買い物に不便を感じている。移動スーパーや宅配サービスの活用も少ない。 ・ 総合病院まで距離があり、送迎してくれる家族がいない高齢者にとってはタクシー代が大きな負担となっている。 ・ 運転免許の有無や送迎協力してくれる家族の有無がQOLに大きな差をもたらしている地区がある。 ・ 福祉サービスが行き届かない地区があるが、目立たないため見過ごされがちである。 ・ 転入された世帯は町内会への加入率が低く、元々の地域住民との交流が少ない。 ・ 介護負担が大きくなるまで抱え込んでしまう家族介護者が多い。初期の段階での相談が少なく、認知症が悪化していたり、新規申請し要介護認定となるケースが多い。 ・ コロナ禍で地域活動が思うように開催できていない。通いの場となる集会所や公民館等までの移動手段がなく、参加できない方もいる。

## 大成・大槻東高齢者あんしんセンター

基本情報（令和5年4月1日現在）
人口：26,563人 高齢者人口：6,960人 高齢化率：26.2% 日常生活圏域：1（大成・大槻東） 地域包括支援センター職員体制：（5名） 保健師等2名、社会福祉士1名、主任介護支援専門員2名
地域の概要
郡山市の西側地域にあり、国道4号線（あさかのバイパス）が南北に走り、交通網が発達している地域。40数年前に造成された住宅地が多く、その地域に住む方々の高齢化が進んでいる。スーパーマーケットやドラッグストア、コンビニエンスストアなど商業施設も多くあるが、買い物に便利な地区とそうでない地区の差が大きい。病院やクリニックも多い。 介護保険事業所が多く、居宅介護支援事業所、デイサービス、ショートステイなどの施設が多く、利用者のニーズに合わせた施設選びが比較的可能である。
地域課題
地域のつながりが希薄な地域と関わりが濃密な地域の差があり、希薄な地域については高齢者の異変に気付きにくい。独居や高齢者のみの世帯が多く、かつ家族が遠方で協力体制が確立できない世帯が増えているため、介護保険サービスやその他の福祉サービスの利用希望が急増している。その一方で地域も広く高齢化率も高くなっているが通いの場やオレンジカフェなど気軽に集える場所、インフォーマルなサービスが少ないと感じている。 高齢者と何らかの障害を持つ家族、世帯が多く、世帯全体への支援が必要で、障がいや精神分野、医療機関等の関係機関との連携が不可欠となっている。

## 安積高齢者あんしんセンター

<p>基本情報（令和5年4月1日現在）</p> <p>人口：34,140人          高齢者人口：9,248人          高齢化率：27%          日常生活圏域：1（安積）          地域包括支援センター職員体制：（8名）          保健師3名、社会福祉士3名、主任介護支援専門員2名</p>
<p>地域の概要</p> <p>・安積町の中心に国道、県道が走り市街地へのアクセスがよく、道路沿いには店舗も多く便利である。町の中心に笹原川、阿武隈川が流れている。          市街地のベッドタウンとして50年程前に造成された団地が多く、団地全体での高齢化が進んでいる。また、市営、県営住宅が多い。一方で農村地区もある。          介護保険施設、居宅介護支援事業所、デイサービス等も多く、障がい分野の施設もある。医療機関も精神科、内科、整形、眼科、皮膚科等、各医療機関があり、歯科医院も多い。行政センターがあり、自治会長会など、安積町としての組織が多く、横のつながりもある。</p>
<p>地域課題</p> <p>50年程前に造成された団地全体での高齢化が進み、高齢世帯、独居世帯が多くなり、認知症高齢者も増えている。そのせいもあり、地区の役員などの成り手が減少している。幹線道路沿いにスーパーがあるため、車がないと生活が難しくなっている。          コロナ禍にて、地域活動が自粛となり、高齢者の活動性の低下がみられている。          公営住宅が多く、世帯で課題を抱える方が多い。          障がいや引きこもりの子供と同居する親の高齢化にて、子の課題が浮上することが多い。          障がいを抱えた方が高齢化し、障がいと介護との連携が必要とされている。</p>

## 三穂田高齢者あんしんセンター

<p>基本情報（令和5年4月1日現在）</p> <p>人口：3,727人          高齢者人口：1,510人          高齢化率：40.5%          日常生活圏域：1（三穂田）          地域包括支援センター職員体制：（3名）          保健師等1名、社会福祉士等1名、主任介護支援専門員1名</p>
<p>地域の概要</p> <p>・人口減少は激しい。特に高齢者以外の方の減り方が激しい。          全体で450人減り、高齢者は23人。＝急激に高齢化率が進む。          ・令和4年4月からバス路線廃止。乗り合いタクシーができた。利用者は徐々に増えているが、周知度は低い。          ・居宅介護支援事業所1か所 特別養護老人ホーム1か所（地域密着型通所介護1か所、ショートステイ1か所併設） グループホーム1か所 小規模多機能居宅介護1か所          地域密着型通所介護1か所 訪問看護ステーション1か所          ・病院：歯科医院1か所のみ</p>
<p>地域課題</p> <p>・人口流出⇒高齢化率40%超え（老々介護 認認介護）          ・買い物や通院等、外出するための足がなく、閉じこもり傾向          ・通いの場＝交流の場がなかなかできない＝地域活動がコロナの影響もありできていない          ・重度になってからの相談が多い 要支援者の激減（147件/年）</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>家族と同居世帯になっていたとしても、息子家族と親夫婦とが、隠居と母屋で別れて暮らしているパターンが多い。互いになるべく干渉しないように生活をしている。          そのため、同敷地内に住んでいても親夫婦の事を理解しておらず、問題が起きないと気が付かないため、気が付いた時には要介護状態になっている。          悪くなる前に相談に来てほしいが、介護保険についても認知されていない現状あり、ことがおきた時にはすでにお金はないし困った状況になっている。</p>

## 片平・喜久田高齢者あんしんセンター

<p>基本情報（令和5年4月1日現在）</p> <p>人口：17,811人 高齢者人口：4,653人          高齢化率：26.1%          日常生活圏域：2（片平、喜久田）          地域包括支援センター職員体制：（5名）          保健師2名、社会福祉士2名、主任介護支援専門員1名</p>
<p>地域の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢の一人暮らし、高齢夫婦のみの世帯が増加</li> <li>・若い世帯の増加、商業施設が増えている地区もあるが、農村部と二極化している</li> <li>・居宅介護支援事業所4ヶ所、それ以外の居宅サービス事業所、施設サービス事業所3ヶ所、地域密着型サービス事業所6ヶ所、サ高住2ヶ所、有料老人ホーム1ヶ所、軽費老人ホーム1カ所。</li> <li>・病院1カ所、診療所4ヶ所、歯科2ヶ所。</li> <li>・鉄道1駅、路線バス1路線（廃線となった路線がある）。路線バス廃止により移動手段が少なくなり、特に住宅地から外れると移動が不便。</li> <li>・大規模小売店舗0件、小規模小売店舗、コンビニエンスストア5ヶ所、郵便局2ヶ所、空き店舗もチラホラ。</li> <li>・郡山IC、郡山ジャンクションが喜久田町地域に設置されており、交通の要所である地域。</li> <li>・片平町、喜久田町ともに農業が盛んな町。</li> <li>・片平町は、奈良時代の宮中女官の伝説、「采女物語」の舞台として知られている。毎年うねめ祭りの前には山ノ井公園にて采女供養祭が開催されており、町民も参加協力している。</li> </ul>
<p>地域課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢世帯と若者世代との交流が少ない。</li> <li>・30～40年前に出来た住宅地では、高齢の独居、夫婦世帯が増加している。子どもも遠方に住んでいる方が多い。</li> <li>・認知症が進行してからの相談が増加している。</li> <li>・路線バスが廃線となり移動手段が制限されている。</li> <li>・ゴミ収集場所が遠くゴミ捨てが大変と感じている方がいる。</li> </ul>

## 日和田・西田高齢者あんしんセンター

<p>基本情報（令和5年4月1日現在）</p> <p>人口：14,200人          高齢者人口：4,141人          高齢化率：29.1%          日常生活圏域：2（日和田・西田）          地域包括支援センター職員体制：（5名）          保健師等2名、社会福祉士2名、主任介護支援専門員1名</p>
<p>地域の概要</p> <p>山間部の集落は過疎化が進んでおり、高齢者世帯、独居世帯が増えている。日和田町は東北本線の駅があり商業、工業で栄えた町である。西田町は農林業が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の約2割が介護認定を受けている。</li> <li>・居宅介護支援事業所2カ所、それ以外の居宅サービス事業所6カ所 施設サービス事業所1カ所、地域密着型サービス事業所5カ所</li> <li>・一般診療所3カ所、歯科医院4カ所</li> <li>・鉄道1駅、路線バスなし、乗り合いタクシー</li> <li>・大規模小売店舗1店舗、小規模小売店舗3店舗</li> </ul>
<p>地域課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り合いタクシーになったが利用時間、降車場所が決まっているため利用率が低い</li> <li>・高齢化率が高く老々介護が目立ってきている</li> <li>・高齢の親と精神疾患の子どもへの対応が増えている</li> <li>・買い物に支援が必要な方が増えている</li> <li>・近所付き合いが希薄となり、認知症の方の発見が遅れ、認知症が進行している</li> <li>・西田町は隣近所が離れており交通手段もないため通いの場新規立ち上げが難しい</li> </ul>

## 富久山高齢者あんしんセンター

基本情報（令和5年4月1日現在）
人口：35,865人 高齢者人口：8,183人 高齢化率：22.5% 日常生活圏域：1（富久山） 地域包括支援センター職員体制：（7名） 保健師等2名、社会福祉士4名、主任介護支援専門員1名
地域の概要
<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者数は緩やかに増加傾向、高齢化率は一番低い人口、世帯数は一番多い現状である。要支援認定の50%弱が80代の高齢者で特に女性の方が多い。 高齢者独居または高齢者世帯が増加、2016年で36%を占めており、65歳以上では約60%を占めている。</li><li>・居宅介護支援事業所 10か所、それ以外の居宅サービス事業所 32か所。 施設サービス事業所 2か所。地域密着型サービス事業所 15か所。 （令和5年5月1日現在）</li><li>・病院 2か所。一般診療所 29か所。歯科医院 14か所。 （令和5年5月1日現在）</li><li>・鉄道 隣接1駅、路線バス 6路線 大規模小売店舗 2店舗。小規模小売店舗 7店舗 （令和5年5月1日現在：令和4年6月郡山商業まちづくり基本構想に2店舗追加）</li><li>・医療機関や介護施設、介護保険サービス、高齢者住宅等も充実している地域である。</li></ul>
地域課題
<ul style="list-style-type: none"><li>・8050問題（高齢の親と無職の子が同居している等世帯）、高齢者と障がい者の世帯の支援のため関係機関との連携や早期発見ができるシステム構築が必要である。</li><li>・身寄りのない方の身元保証や金銭管理支援が必要であるが、あんしんサポートや成年後見申立てに時間を要している。医療機関や施設等も含めた地域全体で支えていくシステム構築やマニュアルが必要である。</li><li>・70代の認知症の相談が多くなってきており受診や運転、運転免許証返納後の閉じこもりとなる方が多い。</li><li>・認知症の方を地域で見守る体制が希薄な地域もあり住民の理解が必要である。</li><li>・後継者不足や高齢による利用者激減のためサロン閉鎖となってしまう地域もある。</li><li>・精神障がいの方に対するアウトリーチ的な支援が少なく対応に苦慮している。</li><li>・交通の利便性はある程度良好と思われるが不便な地域もある。</li></ul>

## 湖南地区高齢者あんしんセンター

基本情報（令和5年4月1日現在）
人口：2,867人 高齢者人口：1,574人 高齢化率：54.90% 日常生活圏域：1（湖南） 地域包括支援センター職員体制：（3名） 保健師等1名、社会福祉士1名、主任介護支援専門員1名
地域の概要
<ul style="list-style-type: none"><li>・郡山市で高齢化率が第一位。</li><li>・標高が高く寒冷地で、冬期間は豪雪となる。</li><li>・田畑が多く、布引高原では大根・キャベツの栽培が行われている。</li><li>・高齢者人口の約22%が介護認定を受けている。</li><li>・居宅介護支援事業所 1か所、それ以外の居宅サービス事業所4か所。</li><li>・施設サービス事業所 1か所、地域密着型サービス事業所 3か所。</li><li>・一般診療所 3か所。歯科医院 2か所。</li><li>・路線バス 5路線あるが、福島交通大槻車庫までと磐梯熱海駅前までとなっている。</li><li>・小規模小売店舗 13か所。</li><li>・保育所 1か所、小中学校 1か所、高校 1か所。</li></ul>
地域課題
<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者の一人暮らしや高齢者世帯が増加。</li><li>・人口減少が見られる。</li><li>・買物に支援が必要な方が増えている。</li><li>・交通手段がない方が増えている。</li><li>・子ども等親族が県外在住者が多く、家族との連携が取りづらい。</li><li>・老々介護が多いが、問題として表面化されていない。</li><li>・雪かきが困難な方が増えている。</li><li>・知的障がいや精神障がいの疑いの方の実態が不明。</li><li>・専門の医療機関がない。</li></ul>

## 熱海高齢者あんしんセンター

基本情報（令和5年4月1日現在）
<p>人口：4,994人                  高齢者人口：2,212人                  高齢化率：43.7%                  日常生活圏域：1（熱海）                  地域包括支援センター職員体制：（3名）：                  保健師等2名、社会福祉士1名</p>
地域の概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>山間地域にあって、移住地域が点在。買物や受診等、病院や商業施設への移動手段がない。</li> <li>高齢者、独居世帯が半数を占めている。</li> <li>病院は1か所のみ。高齢者が必要とする科がなく遠方のクリニックや医院への受診が必要。</li> <li>以前に比べ、家族協力や地域見守り体制、高齢化が進み関係性が希薄になってきている。</li> <li>認知症、隠れ精神疾患を抱える方が多い。</li> <li>高齢者のみの問題ではなく家族全体への支援を必要としている方が増えている。その環境から虐待に至るケースも増えており予防が必要。</li> </ul>
地域課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>通いの場やサロン等での地域住民との交流促進</li> <li>交通手段の確保</li> <li>現在営業する店舗への相談、働きかけ</li> </ul>

## 田村高齢者あんしんセンター

基本情報（令和5年4月1日現在）
<p>人口：16,820人                  高齢者人口：5,622人                  高齢化率：33.4%                  日常生活圏域：1（田村）                  地域包括支援センター職員体制：（6名）                  保健師2名 保健師等1名 社会福祉士1名 主任介護支援専門員2名</p>
地域の概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>郡山市の中心市街地から南東部、国道49号線に沿って位置している。須賀川市・小野町・平田村に隣接しており、他市町村の医療機関や介護サービスを利用している方も多い。</li> <li>町の東部は山林や原野が多く自然豊かで高齢になっても畑や庭に出て農作業を続けている方が多いが、交通や買い物の不便さ等々の課題がある。町の西部は大学や工業団地、国道沿いには大型小売店などがあり利便性の良い地域であるが、親戚や地域と関わりがない高齢者が古いアパートに移り住んで来るケースが増えている。</li> <li>[介護] 居宅介護支援事業所：4ヶ所 それ以外の居宅サービス事業所：17か所                      施設サービス事業所：2カ所 地域密着型サービス事業所：7か所</li> <li>[医療] 一般診療所：5か所 歯科医院：7か所</li> <li>[交通] 鉄道(水郡線)：2駅 路線バス：3路線(1日3便の路線もある)</li> </ul>
地域課題
<p>[介護サービス] 移動距離等の理由でヘルパー事業所が見つからず、サービス調整が難しい地域がある。</p> <p>[生活] 生活困窮や協力者不在の高齢者の増加。介護保険や生活支援制度の対象外の方への支援。金融機関やポスト、ゴミ収集所が遠い。</p> <p>[介護予防・地域交流] 介護予防の意識や活動に地域差がある。同年代の友達はいても足腰が悪くて互いに行き来ができなくなり家族以外に交流はない方が多い。</p> <p>[認知症] 地域における認知症高齢者の共生への理解が十分でない。認知症サポーターの活動の場がない。</p> <p>[交通] 高齢者ドライバーが多く、家族や地域の方が運転免許返納について悩んでいる。</p> <p>[自然災害・消費者被害] 河川氾濫や土砂災害等が発生しやすい地区がある。避難の方法や支援の不安。消費者被害の予防や情報収集。</p>



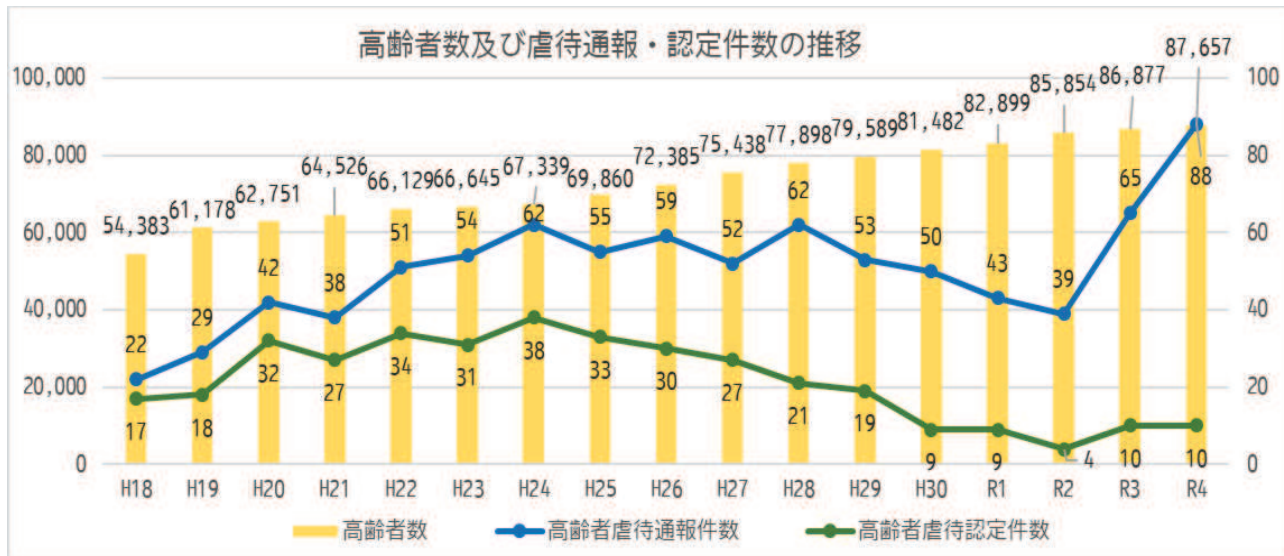
## 郡山東部・中田高齢者あんしんセンター

基本情報（令和5年4月1日現在）
人口：14,954人 高齢者人口：5,278人 高齢化率：35.3% 日常生活圏域：1（東部・中田） 地域包括支援センター職員体制：（5名） 保健師2名、社会福祉士2名、主任介護支援専門員1名
地域の概要
（東部地区） あぶくま台、舞木町四合田等30～40年経過する集合住宅地もあれば、その他野菜農家、酪農を営む地域もある。住宅調整地区であるため、若い世代の居住が進まず、高齢化が進行。地区内の小学校では入学者が減少状態。 （緑ヶ丘地区） 郡山駅より4kmほど東の阿武隈丘陵地福島県住宅供給公社が造成したニュータウン。平成元年、宅地分譲が開始。戸建てと市営、県営住宅があり、人口約8000人。郡山市の他、他県からの転入者も多い。古くからの付き合いがなく、近隣同士のつながりが希薄。 （中田地区） 郡山東部に位地する、山間部の農業が主体の地域。海老根和紙や柳橋歌舞伎などの伝統芸能があり歴史のある地域。地域住民同士のつながりが強い。
地域課題
（東部地区） <ul style="list-style-type: none"><li>・地域のつながりのある山間部とつながりが希薄な団地があり、地域特性が異なるため地区ごとの対応が必要。</li><li>・高齢者夫婦のみの世帯や高齢者の独居世帯が多い。</li><li>・起伏が多い地形で、歩行での移動が困難だが、交通の便も悪い。</li><li>・医療機関や商店がなく、行政機関や施設も少なく社会資源が不足している。</li></ul> （緑ヶ丘地区） <ul style="list-style-type: none"><li>・他県からの転入者が多く、近所付き合いが少なく、地域のつながりが希薄。</li><li>・分譲された時期によって町会ごとに高齢者率が異なるなど、町会ごとに特性が異なる。</li><li>・町内会や連合会などの組織が充実している反面、次世代を担う人材の育成が課題。</li></ul> （中田地区） <ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者を地域で支え合うことができるが、介護予防の意識が低く、重度化してから介護相談が入ることが多い。</li><li>・医療機関は閉鎖され、商店も少なく、社会資源が急激に減少。山間部のため介護サービスなどの公的な支援も不足している上、交通の便も悪い。</li></ul>

7 報告事項

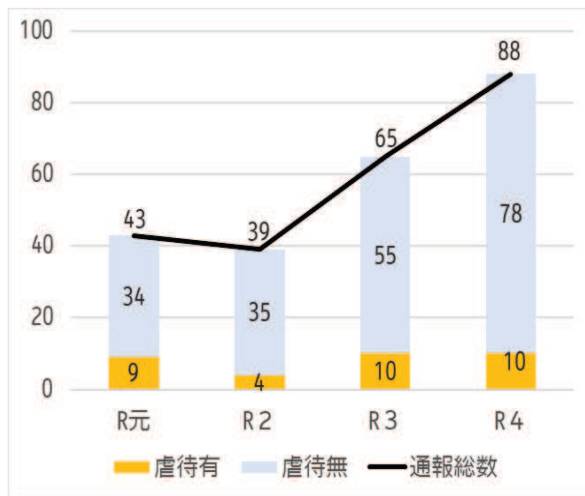
(1) 令和4年度郡山市養護者による高齢者虐待対応状況について

1 郡山市の高齢者数と虐待通報件数・虐待判断件数の推移



2 令和4年度養護者による高齢者虐待対応の状況について

(1) 通報件数および虐待と判断した件数

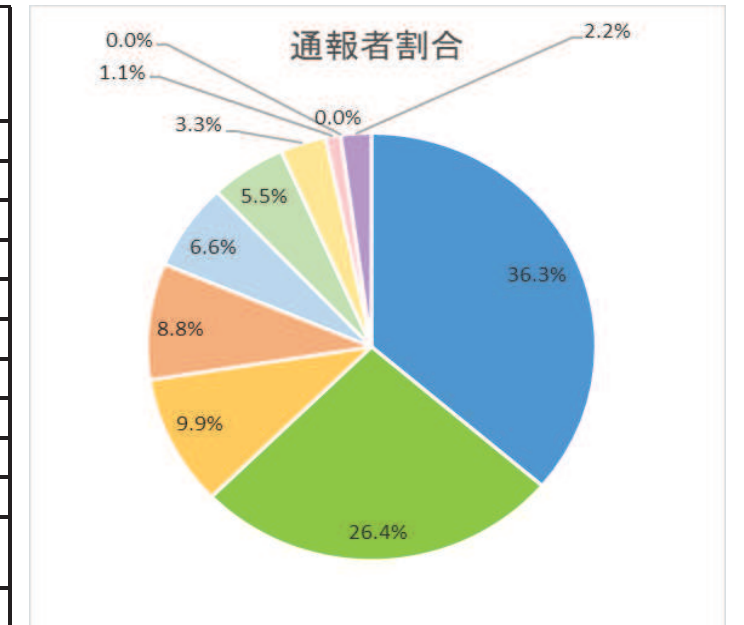


年度	通報件数	虐待と判断した件数	虐待と判断した被虐待者内訳		
			男	女	合計
R元年度	43件	9件 20.9%	3人 33.3%	6人 66.7%	9人 100%
2年度	39件	4件 10.3%	0人 0%	4人 100%	4人 100%
3年度	65件	10件 15.2%	2人 20.0%	8人 80.0%	10人 100%
4年度	88件	10件 11.4%	4人 40.0%	6人 60.0%	10人 100%

	郡山市 (R4 年度)		福島県 (R3 年度)		国 (R3 年度)	
	件数 (件)	前年度比 (件)	件数 (件)	前年度比 (件)	件数 (件)	前年度比 (件)
通報件数	88	23	525	△ 80	36,378	604

(2) 通報者数の内訳 (重複あり)

通報者	件数 (延べ)	割合
警察	33	36.3%
介護支援専門員等	24	26.4%
被虐待者本人	9	9.9%
家族・親族	8	8.8%
介護保険事業所等	6	6.6%
近隣住民・知人	5	5.5%
医療機関従事者	3	3.3%
民生委員	1	1.1%
虐待者自身	0	0.0%
行政関係者	0	0.0%
その他 (不明、匿名含む)	2	2.2%
計	91	100.0%



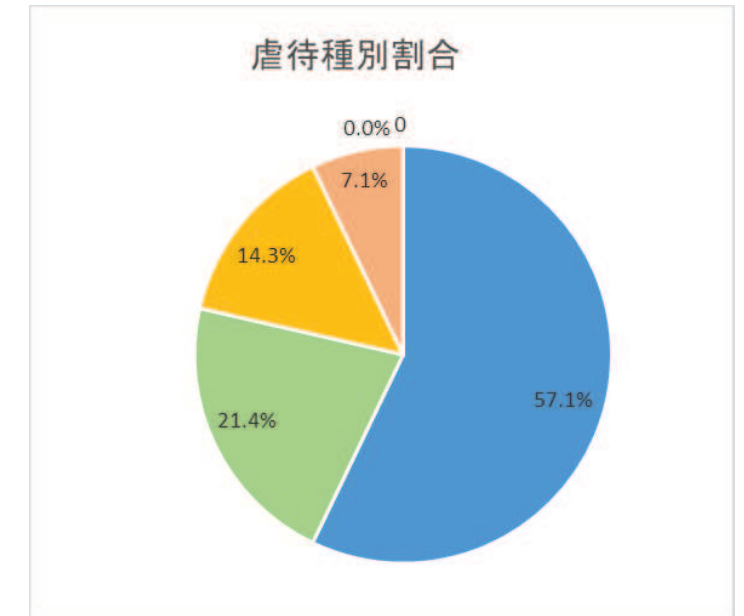
※通報者が複数人いる案件があるため、通報件数とは必ずしも一致しない。

【参考】

県：警察 (27.1%)、介護支援専門員 (29.2%)、家族・親族 (9.4%)  
 国：警察 (32.7%)、介護支援専門員 (24.9%)、家族・親族 (8.0%)

(3) 虐待の種類 (重複あり)

虐待種別	件数 (延べ)	割合
身体的虐待	8	57.1%
心理的虐待	3	21.4%
介護等放棄	2	14.3%
経済的虐待	1	7.1%
性的虐待	0	0.0%
計	14	100.0%

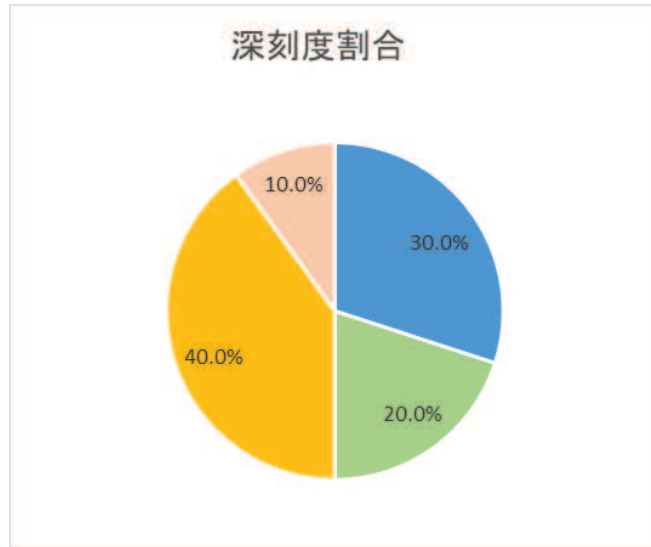


【参考】

県：身体的 (42.0%)、心理的 (28.1%)、介護等放棄 (15.8%)  
 国：身体的 (47.8%)、心理的 (28.1%)、介護等放棄 (13.6%)

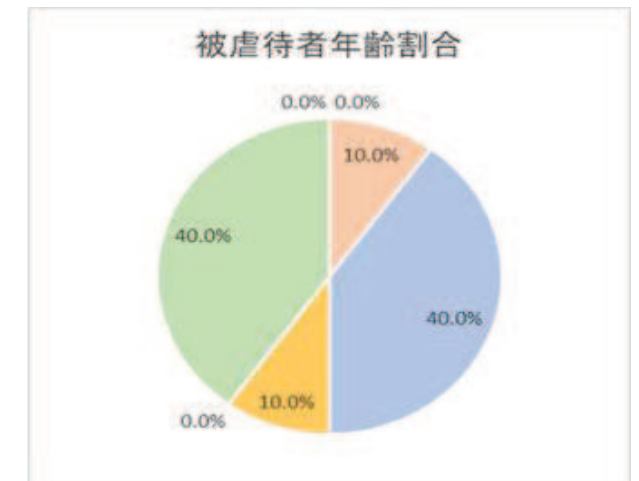
(4) 虐待の深刻度

深刻度	件数 (延べ)	割合
深刻度1 (軽度)	3	30.0%
深刻度2 (中度)	2	20.0%
深刻度3 (重度)	4	40.0%
深刻度4 (最重度)	1	10.0%
計	10	100.0%



(6) 被虐待者の年齢

被虐待者の年齢	人数 (人)	割合
65歳未満	0	0.0%
65～69歳	0	0.0%
70～74歳	1	10.0%
75～79歳	4	40.0%
80～84歳	1	10.0%
85～89歳	0	0.0%
90歳以上	4	40.0%
計	10	100.0%



【参考】

県：85～89歳（21.9%）、75～79歳（19.9%）、70～74歳（19.9%）

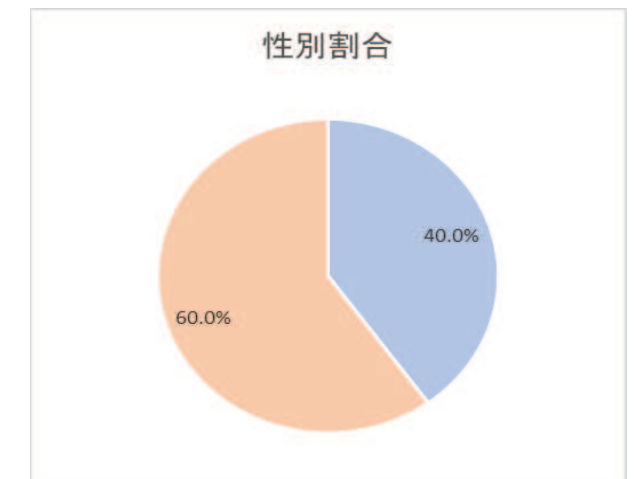
国：80～84歳（24.7%）、85～89歳（21.1%）、75～79歳（18.9%）

<深刻度に関する説明（国資料より）>

区分	説明
1（軽度）	医療や福祉など専門機関による治療やケアなどの介入の検討が必要な状態
2（中度）	権利侵害行為が繰り返されている、高齢者の心身への被害・影響や生活に支障が生じている。
3（重度）	権利侵害行為によって高齢者の身体面、精神面などに重大な健康被害が生じている、生活の継続に重大な支障が生じている。保護の検討が必要な状態。
4（最重度）	権利侵害行為によって高齢者の生命の危険や心身への重篤な影響、生活の危機的状況が生じている。直ちに保護が必要な状態。

(7) 被虐待者の性別

虐待種別	人数 (人)
男性	4
女性	6
計	10



(5) 緊急性に基づく対応

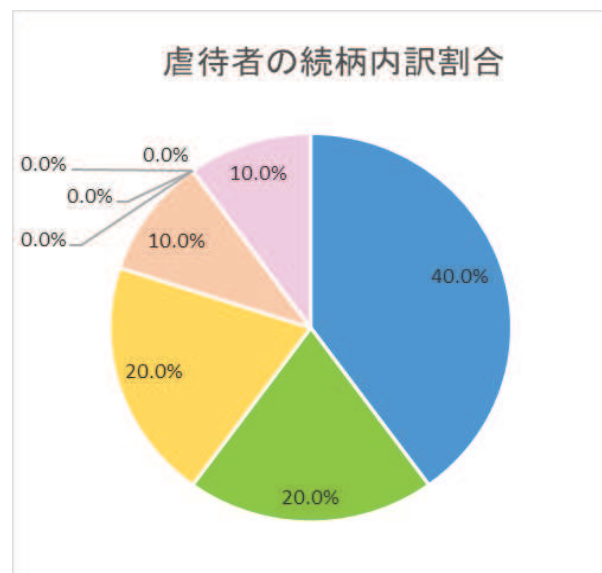
緊急性		主な対応の内訳		法第13条による 面会制限
有	8	やむを得ない事由による措置入所 (特別養護老人ホーム)	2	5
		やむを得ない事由による措置入所 (養護老人ホーム)	3	
		契約による介護施設入所	1	
		契約による転居等	1	
		医療機関への入院	1	
		警察への援助要請及び立入調査	0	
無	2	介護サービスの拡充	2	

(8) 被虐待者の介護保険申請状況

介護保険 申請状況	人数 (人)	割合	要介護認定状況 (通報時点)			認知症有無 (通報時点)					
			要介護度	人数 (人)	割合	認知症日常生活自立度	人数 (人)	割合			
未申請	4	40.0%	認定済	6	60.0%	非該当	0	0.0%	無(不明)	4	40.0%
申請中	0	0%				要支援1	0	0.0%	自立度Ⅰ	2	20.0%
						要支援2	0	0.0%	自立度Ⅱ	3	30.0%
						要介護1	3	50.0%	自立度Ⅲ	1	10.0%
						要介護2	1	16.7%	自立度Ⅳ	0	0.0%
						要介護3	1	16.7%	自立度M	0	0.0%
						要介護4	1	16.7%			
						要介護5	0	0.0%			
合計	10	100.0%				合計	6	100.0%	合計	10	100.0%

(9) 虐待者の続柄

被虐待者から見た虐待者の続柄	人数(人)	割合
息子	4	40.0%
娘	2	20.0%
夫	2	20.0%
妻	1	10.0%
孫	0	0.0%
兄弟姉妹	0	0.0%
娘の配偶者(婿)	0	0.0%
息子の配偶者(嫁)	0	0.0%
その他(内縁の妻)	1	10.0%
計	10	100.0%

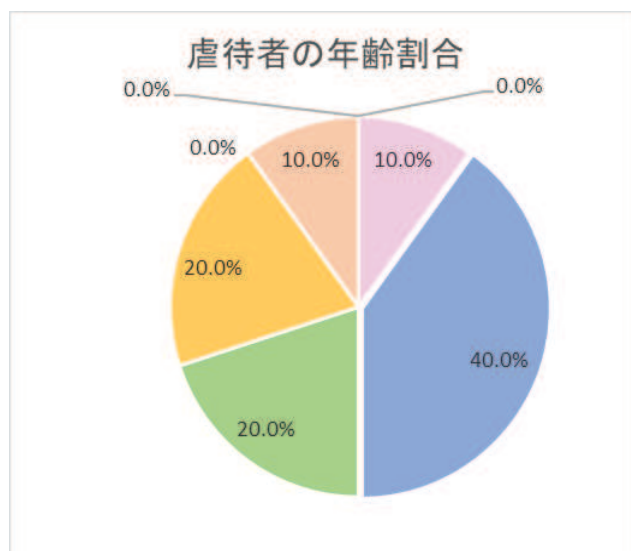


【参考】

県：息子(40.7%)、娘(19.9%)、夫(19.2%)  
 国：息子(24.7%)、夫(22.8%)、娘(19.0%)

(10) 虐待者の年齢

虐待者の年齢	人数(人)	構成割合(%)
40歳未満	0	0.0%
40～49歳	1	10.0%
50～59歳	4	40.0%
60～69歳	2	20.0%
70～79歳	2	20.0%
80～89歳	0	0.0%
90歳以上	1	10.0%
不明	0	0.0%
計	10	100.0%



【参考】

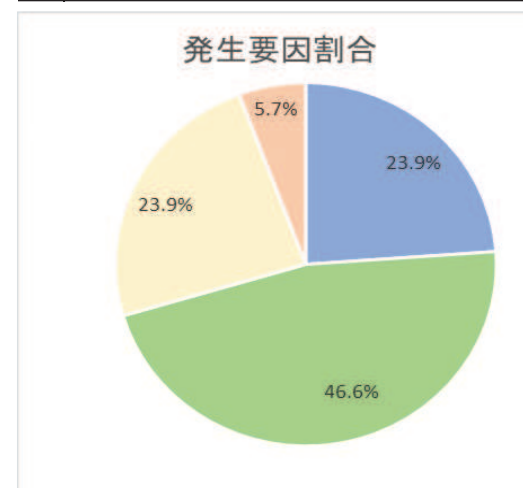
県：50～59歳(25.6%)、60～69歳(23.3%)、40～49歳(17.7%)  
 国：50～59歳(25.9%)、60～69歳(16.0%)、40～49歳(16.0%)

(11) 被虐待者と養護者との同居・別居の状況

養護者とのみ同居	3
養護者及び他家族と同居	5
養護者と別居	2

(12) 虐待の発生要因

		件数	割合
被虐待者の要因	認知症状	5	5.7%
	精神障害(疑い含む)	0	0.0%
	身体的自立度の低さ	5	5.7%
	排泄介助の困難さ	3	3.4%
	外部サービス利用への抵抗	3	3.4%
	性格や人格(に基づく言動)	5	5.7%
小計		21	23.9%
虐待者の要因	介護疲れ、介護ストレス	5	5.7%
	介護力低下・不足	5	5.7%
	孤立・補助介護者の不在等	7	8.0%
	世間体に対するストレス、プレッシャー	1	1.1%
	知識・情報の不足	5	5.7%
	理解力の低下・不足	8	9.1%
	外部サービス利用の抵抗感	4	4.5%
	性格や人格(に基づく言動)	6	6.8%
小計		41	46.6%
家庭の要因	経済的困窮・問題	5	5.7%
	家庭内の経済的利害(財産、相続等)	4	4.5%
	(虐待者以外の)家族関係の希薄や問題	8	9.1%
	(虐待者以外の)家族の無関心、非協力	4	4.5%
小計		21	23.9%
その他	ケアサービスの不足の問題	2	2.3%
	ケアマネジメントの問題	3	3.4%
小計		5	5.7%
合計		88	100.0%



## 7 (2) 令和4年度郡山市成年後見等申立状況について (地域包括ケア推進課取扱分)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
申立件数 (実件数)		31	28	37	33	
申立理由 ※対象者の状況により複数に該当する場合あり。延件数で計上。	身体的要因等	認知症・高次脳機能障がい	30	28	35	33
		知的障がい	0	0	1	1
		精神障がい	3	0	4	3
		身体障がい	3	0	0	1
		植物状態	0	0	0	0
		小計	36	28	40	38
	抱える課題等	預貯金多額	7	4	7	7
		債務・債権の把握・処理	4	7	6	3
		保険金受取・保険契約解約	1	1	2	0
		その他動産・不動産の管理・処分	7	8	9	7
		相続手続	1	0	0	0
		トラブル・虐待対応	3	1	4	1
		生活困窮等	9	13	17	12
		その他 (施設入所契約等)	0	0	0	3
	小計	32	34	45	33	
	案件相談者	地域包括支援センター	18	19	14	18
		ケアマネジャー	3	4	4	8
施設		6	0	6	5	
医療機関		3	5	9	2	
その他		1	0	4	0	
小計		31	28	37	33	

## 【参考】郡山市成年後見支援センター相談受付状況

### (1) 月別相談件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
新規	6	16	15	18	20	11	19	9	11	5	16	20	166
問合せ	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
継続	4	11	13	11	14	15	16	11	5	15	20	17	152
合計	10	29	28	30	34	26	35	20	16	20	36	37	321

### (2) 対象者別の相談件数

区 分	高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	計
新規件数	118	16	24	8	166
新規割合(%)	71.1	9.6	14.5	4.8	100.0
延べ件数	232	23	40	23	318
延べ割合(%)	73.0	7.2	12.6	7.2	100.0

### (3) 相談者別の問合せ・新規相談件数

区分	本人	親族	福祉 関係機関	医療機関	行政	金融機関	後見人等	その他	計
件数	15	57	53	18	5	3	3	15	169
割合(%)	8.9	33.7	31.3	10.7	2.9	1.8	1.8	8.9	100

### (4) 相談における内容内訳

	法定後見 制度全般	任意後見 制度全般	申立手続	財産管理	権利侵害	その他	計
4月	8	0	1	0	0	1	10
5月	14	2	10	1	0	0	27
6月	3	7	13	0	0	5	28
7月	12	5	9	0	0	3	29
8月	16	1	11	0	0	6	34
9月	6	5	12	0	1	2	26
10月	12	4	18	0	0	1	35
11月	10	2	7	0	0	1	20
12月	11	0	3	0	0	2	16
1月	5	3	11	0	0	1	20
2月	17	2	14	0	0	3	36
3月	11	8	15	1	0	2	37
累計	125	39	124	2	1	27	318